農地整備事業(経営体育成型)

土 地 改 良 事 業 計 画 書（第 1 回 変 更）

（ 農業用用排水施設 ）

県　　名	岩　　手
地 区 名	星山・犬吠森
施 行 地	紫波郡紫波町
事業主体	岩　手　県

土 地 改 良 事 業 計 画 書

目　　次

第1章　目　　的 …… 1
第2章　地域及び地積 …… 1
　第1節　地　　域 …… 1
　第2節　地　　積 …… 1
第3章　現　　況 …… 2
　第1節　気象及び海象 …… 2
　　1.　一　般　気　象 …… 2
　　2.　特　殊　気　象 …… 3
　　3.　海　　象 …… 3
　第2節　土　地　状　況 …… 4
　　1.　地形、土壌及び侵食の程度 …… 4
　　2.　土　地　分　類 …… 6
　　3.　土地利用の状況 …… 7
　　4.　土地所有の状況 …… 8
　第3節　水　利　状　況 …… 9
　　1.　用　水　状　況 …… 9
　　2.　排　水　状　況 …… 15
　　3.　河　川　状　況 …… 18
　第4節　道　路　現　況 …… 19
　　1.　道　路　概　況 …… 19
　　2.　主要道路一覧表 …… 19
　第5節　地域農業の概況 …… 20
　　1.　産業別就業人口 …… 20
　　2.　経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数 …… 21
　　3.　動力農機具及び主要家畜頭数 …… 22
　　4.　主要作物作付状況 …… 23
　　5.　農　業　の　動　向 …… 24
　第6節　地域環境の概要 …… 24
第4章　一　般　計　画 …… 25
　第1節　事業計画の要旨 …… 25
　　1.　要　　旨 …… 25
　　2.　事　業　別　面　積 …… 25
　第2節　営農計画及び土地利用計画 …… 26
　　1.　営農計画の概要 …… 26
　　2.　土地利用区分 …… 26
　　3.　作　付　方　式 …… 27
　　4.　生　産　計　画 …… 28
　　5.　労働改善計画 …… 29
　　6.　級地別土地利用区分 …… 30
　　7.　土地配分計画 …… 30
　第3節　用　水　計　画 …… 31
　　1.　計画基準年 …… 31
　　2.　計画かんがい方式 …… 31
　　3.　計画用水系統 …… 32
　　4.　計画用水量 …… 33
　　5.　水　源　計　画 …… 35
　第4節　排　水　計　画 …… 40
　　1.　計画基準雨量 …… 40
　　2.　計画排水方式 …… 40
　　3.　計画排水系統 …… 41
　　4.　計画排水量 …… 42
　　5.　排　水　対　策 …… 43
　　6.　たん水検討 …… 45
　第5節　道　路　計　画 …… 46
　　1.　道路及び索道 …… 46
　　2.　路線配置図 …… 47
　第6節　農用地造成計画 …… 48
　　1.　農用地造成計画 …… 48
　　2.　土　壌　改　良 …… 49
　第7節　洪水調節計画 …… 50
　　1.　計画基準雨量 …… 50
　　2.　計画洪水量及び調節量 …… 50
　　3.　貯　　水　　池 …… 50
　　4.　洪水調節検討 …… 51
　　5.　管　理　計　画 …… 51
　第8節　干　拓　計　画 …… 51
　第9節　農用地整備計画 …… 52
　　1.　区　画　整　理 …… 52

2. 暗 渠 排 水 …… 54
3. 客 土 …… 55
4. 農 地 保 全 …… 56
第10節 老朽ため池改修計画 …… 58
1. 洪水吐改修計画 …… 58
2. 堤体補強計画 …… 58
3. 取水施設改修計画 …… 58
第5章 主要工事計画 …… 59
第1節 用 水 施 設 …… 59
1. 貯 水 池 …… 59
2. 頭 首 工 …… 60
3. 揚 水 機 …… 61
4. 用 水 路 …… 62
5. その他のかんがい施設 …… 63
第2節 排 水 施 設 …… 64
1. 排 水 水 門 …… 64
2. 排 水 機 …… 64
3. 排 水 路 …… 65
4. その他排水施設 …… 65
第3節 道路及び索道 …… 66
1. 道 路 …… 66
2. 索 道 …… 67
第4節 農用地造成 …… 68
1. 農用地造成 …… 68
2. 土 壌 改 良 …… 69
第5節 洪水調節施設 …… 70
1. 貯 水 池 …… 70
2. 頭首工及び導水施設 …… 70
第6節 干 拓 施 設 …… 71
第7節 農用地整備施設 …… 72
1. 区 画 整 理 …… 72
2. 暗 渠 排 水 …… 72
3. 客 土 …… 73
4. 除 礫 …… 73
5. 農 地 保 全 …… 74
第8節 老朽ため池改修施設 …… 76
1. 貯 水 池 …… 76
2. 堤体補強施設 …… 76
第6章 附帯工事計画 …… 77
第7章 工事の着手及び完了の予定時 …… 77
第8章 環境との調和への配慮 …… 77
第9章 換地計画の概要 …… 78
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方 …… 78
第2節 換地区の設定 …… 78
1. 換地区の名称、所在、面積 …… 78
2. 換地区を設定する理由 …… 78
第3節 換地計画樹立の基本方針 …… 79
1. 従前の土地の面積の基準 …… 79
2. 用途別予定地積 …… 79
3. 農用地集団化の方針 …… 80
4. 非農用地の換地方法 …… 80
第4節 土地の評価及び清算の方法 …… 81
1. 評 価 の 方 法 …… 81
2. 清 算 の 方 法 …… 81
第5節 換地計画樹立の年度計画 …… 81
第6節 換地処分の時期に関する特則 …… 81
第10章 事業費の総額及び内訳 …… 82
第11章 効 用 …… 83
第12章 関連する事業 …… 84
第13章 現況・計画図面 …… 84
1. 現 況 平 面 図 …… 84
2. 計画平面図及び土地利用計画図 …… 84
3. 主 要 構 造 図 …… 84

上段:変更後
下段:変更前

第1章　目　　的

〃

本計画区域は、紫波町中心部より東約２kmに位置し、北上川左岸に拓けた水田農業地帯で、旧星山、犬吠森、大巻集落として一体的な地域である。
構造改善事業（昭和43年～昭和44年）により30a区画に整備され、土地改良総合整備事業（平成3年～平成10年）により、用水路パイプライン化及び排水路装工された地域であるが、取水源である揚水機場及び地区内へ導水する幹線用水路は老朽化が著しく維持管理に多大な費用と労力を要している。
これらを解決するため、揚水機場及び用水路の更新整備を行い、水管理及び維持管理の負担を軽減し、営農意欲の向上と担い手の育成、確保につなげ、農業経営の安定化を図るものである。

第2章　地域及び地積

第1節　地　域

（第1表）

事　業　名	地　　域
農地整備事業(経営体育成型) 農業用用排水施設	〃 紫波郡紫波町星山･犬吠森及び大巻地内

第2節　地　　積

（R7年6月現在）
（H 25年3月現在）　（第2表）

事　業　名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
農地整備事業 (経営体育成型) 農業用用排水施設	紫波郡紫波町	203.4 221.2	〃 0.0	〃 0.0	〃 0.0	〃 0.0	203.4 221.2	
合　　計		203.4 221.2	〃 0.0	〃 0.0	〃 0.0	〃 0.0	203.4 221.2	

上段：変更後
下段：変更前

第3章　現　　況

第1節　　気象及び海象

1．一般気象　　（第3表－1）

観測所名	紫　波	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	H25年～R4年 H10 ～ H19年	〃 5月 ～ 8月	〃 9月 ～ 4月		
平　均　気　温		20.6 19.3 ℃	6.2 5.7 ℃	11.0 10.2 ℃	
降 水 量	平　　均	614.5 604.2 mm	679.9 728.9 mm	1,294.40 1,333.10 mm	
	基 準 年	— mm	— mm	— mm	
降水日数	平　　均	45 48 日	82 97 日	128 145 日	
	基 準 年	— 日	— 日	— 日	
根　雪　期　間		〃 — 月 — 日 ～ — 月 — 日		〃 — 日間	
無　霜　期　間		5月3日 ～ 10月18日 5月3日 ～ 10月20日		169 171 日間	
最　多　風　向		S ＳＳＷ	最大風速	20.1 10.0 m/s	

［岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和6年3月版］
［岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　平成21年2月版］

上段：変更後
下段：変更前

2. 特殊気象

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和6年3月版）
（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　平成21年2月版）　（第3表－2）

観測所名 〃 紫波気象観測所	1位			2位			3位			4位			5位			備考
観測期間	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	
最大日雨量(mm) M34年～R4年 M34年～H19年	〃 222	〃 S13 8/15	1/390 1/387	〃 220	〃 H19 9/17	1/366 1/364	211 210	H25 8/9 T9 8/9	1/275 1/267	210 135	T9 8/9 S15 9/4	1/266 1/21	135 133	S15 9/4 H14 7/11	〃 1/20	
最大時間雨量(mm) S31年～R4年 S31年～H19年	69.5 52	H27 6/16/16 H13 8/3/21	1/80 1/26	64.5 52	H25 8/9/11 S35 8/10/16	1/56 1/26	52 51	H13 8/3/21 H6 9/30/11	1/22 1/24	52 49	S35 8/10/16 S60 9/7/19	1/22 1/20	51 46	H6 9/30/11 H19 9/10/6	1/20 1/18	
最大4時間雨量(mm) S31年～R4年 S31年～H19年	196 82	H25 8/9/13 H19 9/10/8	・・・ 1/38	164.5 81	H25 8/9/14 H19 9/10/9	・・・ 1/34	160 81	H25 8/9/12 H16 9/30/12	・・・ 1/34	111 78	H25 8/9/11 H19 9/10/7	1/110 1/26	98 77	H27 6/16/17 H16 9/22/4	1/48 1/24	
最大3日連続雨量(mm) M34年～R4年 M34年～H19年	〃 359	〃 T9 8/10	1/899 1/804	〃 340	〃 T9 8/9	1/605 1/546	〃 265	〃 T9 8/11	1/114 1/108	〃 238	〃 S13 8/15	1/60 1/58	〃 231	〃 M43 9/3	1/51 1/49	
最大連続旱天日数(日) M34年～R4年 M34年～H19年	〃 55	〃 S18 6/19	・・・ 1/-	〃 40	〃 S21 7/16	1/613 1/351	〃 39	〃 S3 7/18	1/397 1/237	〃 37	〃 H11 7/18	1/175 1/113	〃 36	S53 6/29 S3 6/29	1/120 1/80	

3. 海　　象　　〃 該当なし

（第3表－3）

観測所名		既住最潮位	さく望平均満潮	上下弦均満潮	平均潮位	上下弦均干潮	さく望平均干潮	既住最潮位	備　考
観測期間	年 ～ 年	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
実　測　値		(　　)							

第2節　土地状況

上段:変更後
下段:変更前

1. 地形、土壌及び侵食の程度

（第4表－1－1）

事業名	地目	田						畑・その他								合計	受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5～以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15° 8°～10°	8°～15° ～10°～15°	8°～15° 8°～15°	15°～20°	20°以上	計		最高	最低	
農業用排水施設（農業経営体育成型農地整備事業）	面積(ha)		203.4 221.2				203.4 221.2									203.4 221.2	〃 113	〃 89	
	比率(%)		〃 100				〃 100									〃 100			
計	面積(ha)		203.4 221.2				203.4 221.2									203.4 221.2			
	比率(%)		〃 100				〃 100									〃 100			

上段：変更後
下段：変更前

［水田土壌］　　（第4表－1－2）

項目 / 土壌統（区）区名	土壌統（区）区分一覧表										面積(ha)			備考
	土壌断面										事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層・黒泥層及び グライ層	堆積様式	母材		農業用排水施設 / 経営用地造成 / 農業用地整備事業	計	
〃 灰褐色土壌 強粘土構造型	〃 灰褐 〃 灰褐	〃 表層腐植層 〃 なし	〃 なし	〃 斑紋あり 〃 Mn結核なし	〃 強粘質	〃 同左	〃 同左	〃 なし 〃 なし 〃 なし	〃 洪積 世 堆積 残 積 崩積	〃 非固結堆積岩 〃 固結火成岩 〃 固結堆積岩		54.0 70.4	54.0 70.4	〃 G60
〃 灰褐色土壌 粘土質構造マンガン型	〃 灰褐 〃 灰褐	〃 表層腐植層 〃 なし	〃 なし	〃 斑紋あり 〃 Mn結核あり	〃 強粘質	〃 同左	〃 同左	〃 なし 〃 なし 〃 なし	〃 水積	〃 非固結堆積岩		〃 20.4	〃 20.4	〃 G61
〃 黒色土壌 粘土腐植型	〃 黒 〃 黒	〃 全層腐植層	〃 なし	〃 あり	〃 強粘質	〃 同左	〃 粘質	〃 なし 〃 なし 〃 なし	〃 水積	〃 非固結堆積岩		〃 12.2	〃 12.2	〃 H72
〃 黄褐色土壌 壌土マンガン型	〃 黄褐 〃 黄褐	〃 表層腐植層 〃 なし	〃 なし	〃 斑紋あり 〃 Mn結核あり	〃 壌質	〃 同左	〃 同左	〃 なし 〃 なし 〃 なし	〃 水積	〃 非固結堆積岩		12.8 14.2	12.8 14.2	〃 I83 （上平沢統）
〃 灰褐色土壌 強粘土構造型	〃 灰褐 〃 灰褐	〃 表層腐植層 〃 なし	〃 なし	〃 斑紋あり 〃 Mn結核なし	〃 強粘質	〃 同左	〃 同左	〃 なし 〃 なし 〃 なし	〃 洪積 世 堆積 残 積 崩積	〃 非固結堆積岩 〃 固結火成岩 〃 固結堆積岩		〃 49.1	〃 49.1	〃 G60
〃 黒泥土壌 粘土型	〃 黒 〃 －	〃 －	〃 なし	〃 あり	〃 強粘質	〃 －	〃 －	〃 なし 〃 あり(25cmから) 〃 なし	〃 集積	〃 植物遺体		〃 8.8	〃 8.8	〃 C21
〃 黄褐色土壌 壌土マンガン型	〃 黒 〃 黄褐	〃 表層腐植層	〃 なし	〃 あり	〃 壌質	〃 同左	〃 砂質	〃 なし 〃 なし 〃 なし	〃 風積	〃 非固結火成岩		〃 46.1	〃 46.1	〃 I83 （白岩統）
計												203.4 221.2	203.4 221.2	

上段：変更後
下段：変更前

2.　土地分類　　〃
該当なし

（第4表－2－1）

級地別 ＼ 市町村名	農用地造成										計	備考
	一級地	二級地				三級地				四級地		
		※ (ha)	3°～8° (ha)	8°～12° (ha)	12°～15° (ha)	※ (ha)	15°～20° (ha)	20°～25° (ha)	25°～30° (ha)	30°以上 (ha)		
												※は傾斜以外の要因によるもの
計												

上段：変更後
下段：変更前

3.　土地利用の状況

（R 7年3月現在）
（H25年3月現在）

（第4表－3）

事業名	土地利用名 / 市町村名	耕地								山林		採草牧草地	原野	その他	計	備考
		水田		普通畑	牧草地	果樹園	桑園	茶園	その他の樹園地	用材林	薪炭林					
		一毛作田 (ha)	二毛作田以上 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設（農地整備事業経営体育成型）	紫波町	203.4 221.2													203.4 221.2	
	計	203.4 221.2													203.4 221.2	
合計		203.4 221.2													203.4 221.2	

上段:変更後
下段:変更前

4. 土地所有の状況

（第4表－4）

事業名	区分＼所有別	個人有地	個人共有	法人有地	町 有	県 有	国 有	計	備 考
農業用用排水施設（農地整備事業（経営体育成型））	面 積（ha）	203.1 221.2	左の内 (2.1) (1.4)	0.3				203.4 221.2	
	関係戸数（戸）	151 135	左の内 (4) (13)	1				152 135	
	筆 数（筆）	1,379 1,494	左の内 (15) (11)	3				1,382 1,494	
	権利関係								
	備 考 （受益者）	151 161		1				152 161	
	面 積（ha）								
	関係戸数（戸）								
	筆 数（筆）								
	権利関係								
	備 考 （受益者）								
合計	面 積（ha）	203.1 221.2	左の内 (2.1) (1.4)	0.3				203.4 221.2	
	関係戸数（戸）	151 135	左の内 (4) (13)	1				152 135	
	筆 数（筆）	1,379 1,494	左の内 (15) (11)	3				1,382 1,494	
	権利関係								
	備 考 （受益者）	151 161		1				152 161	

上段：変更後
下段：変更前

第3節　水利状況

1．用水状況

〃

本地区の水源は、一級河川北上川の他、渓流水である。北上川からは水利権取得による揚水機取水である。その他準用河川間木沢川及び渓流水は水利権及び慣行水利権はない。

地区内ほ場への用水網は、揚水機場～支線用水路～小用水路または、ため池～小用水路により組織されているが、構造は土水路が大半である。営農上の維持管理の必要から、これまで土地改良区による局所的な装工・修繕が行われているものの、流下断面が一定でなく、法面の侵食等による通水障害も度々生じており、用水管理及び施設の維持管理等に多大な経費を費やしている。

（1）　用水系統

〃

別紙現況用水系統図のとおり

現 況 用 水 系 統 図

間木沢川
↓
彦部幹線用水路
主要地方道 紫波・川井線
赤川
↓
大巻配水槽
（既設）
S
P
大巻工区
かんがい面積 125.1
代掻期用水量 0.387
普通期用水量 0.324
Aブロック
A 21.1
Q1 0.061
Q2 0.052
A地区外
A 2.1
Q1 0.006
Q2 0.006
Bブロック
A 35.2
Q1 0.099
Q2 0.083
B地区外
A 1.2
Q1 0.003
Q2 0.003
Cブロック
A 35.4
Q1 0.103
Q2 0.086
C地区外
A 1.1
Q1 0.003
Q2 0.003
国道４５６号
彦部第一揚水機場
かんがい面積 221.2 （水利権 227.4）
代掻期用水量 0.662
普通期用水量 0.557
P
星山揚水機
かんがい面積 2.5
代掻期用水量 0.007
普通期用水量 0.006
P
北 上 川
→

変更後

現 況 用 水 系 統 図

間木沢川
↓
彦部幹線用水路
赤川
↓
大巻配水槽
（既設）
S
大巻工区
かんがい面積 91.5
代掻期用水量 0.278
普通期用水量 0.201
P
Aブロック
A 21.6
Q1 0.079
Q2 0.062
A地区外
A 1.7
Q1 0.006
Q2 0.005
Bブロック
A 32.7
Q1 0.109
Q2 0.082
B地区外
A 1.7
Q1 0.006
Q2 0.004
主要地方道 紫波・川井線
Cブロック
A 34.4
Q1 0.113
Q2 0.084
C地区外
A 0.9
Q1 0.003
Q2 0.002
国道４５６号
彦部第一揚水機場
かんがい面積 184.5 （水利権 227.4）
代掻期用水量 0.594
普通期用水量 0.440
P
北 上 川
→

上段:変更後
下段:変更前

(2)　用水施設

(イ)取水方法一覧表

(第5表－1)

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 500ha以上 箇所	ha	500～100ha 箇所	ha	100ha以下 箇所	ha	計 箇所	ha	水利権 箇所	m³/s	慣行水利権 箇所	m³/s	延取水量 m³/s	備考
農業用用排水施設（農地整備事業（経営体育成型））	井堰														
	自然取水口														
	貯水池														
	揚水機			〃 1	184.5 227.4			〃 1	184.5 227.4		0.594 0.663			0.594 0.663	
	その他														
	計			〃 1	184.5 227.4			〃 1	184.5 227.4		0.594 0.663			0.594 0.663	
合計				〃 1	184.5 227.4			〃 1	184.5 227.4		0.594 0.663			0.594 0.663	

上段:変更後
下段:変更前
（第5表-2）

（ロ）　　改修を要する施設一覧表

事業名	項目 施設名	箇所数 （箇所）	受益面積 （ha）	構　造	規　模	新設又は更新年月日	改修を必要とする理由	備　考
農業用排水施設（農地整備事業（経営体育成型））	井　堰							
	自然取水口							
	貯　水　池							
	揚　水　機	〃 1	184.5 227.4	〃 渦巻型	〃 1台　φ600　120kw	〃 昭和39年	〃 老朽化、用水管理改良	
	そ　の　他							
	計							
合　計		〃 1	184.5 227.4					

上段：変更後
下段：変更前

(3) 用水に関する被害状況　　〃
該当なし

(ア) 用水不足による被害状況　　〃
該当なし

（第5表－3－1）

事業名	項目 / 系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千㎥)	かんがい期最大不足水量 平均 (㎥/S)	かんがい期最大不足水量 基準年 (㎥/S)	かんがい期総不足水量 平均 (㎥/S)	かんがい期総不足水量 基準年 (㎥/S)	平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
	計									
合計										

上段：変更後
下段：変更前

（イ）その他の被害状況

〃

該当なし

上段:変更後
下段:変更前

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

〃
該当なし

(第5表－3－3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						人命 (人)	備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋・その他	計		
	計											
	計											
	計											
	計											
合計												

上段：変更後
下段：変更前

2. 排水状況

〃

地区西側を縦断する形で北から南方向へ一級河川北上川が流れ、また、地区を横断する形で東から西方向に支流の間木沢川及び赤川が北上川に流下している。地区内の排水は小排水路からこれら支流に流入し北上川へ流出している。

本地区の排水系統は、排水路と用水路が兼用水路となっているため、用水系統と同一の系統となっている。また、地区が河岸沿いの平地部に位置しており、地形勾配が緩やかで且つ水路底が浅い土水路方式のため排水能力が不足している。

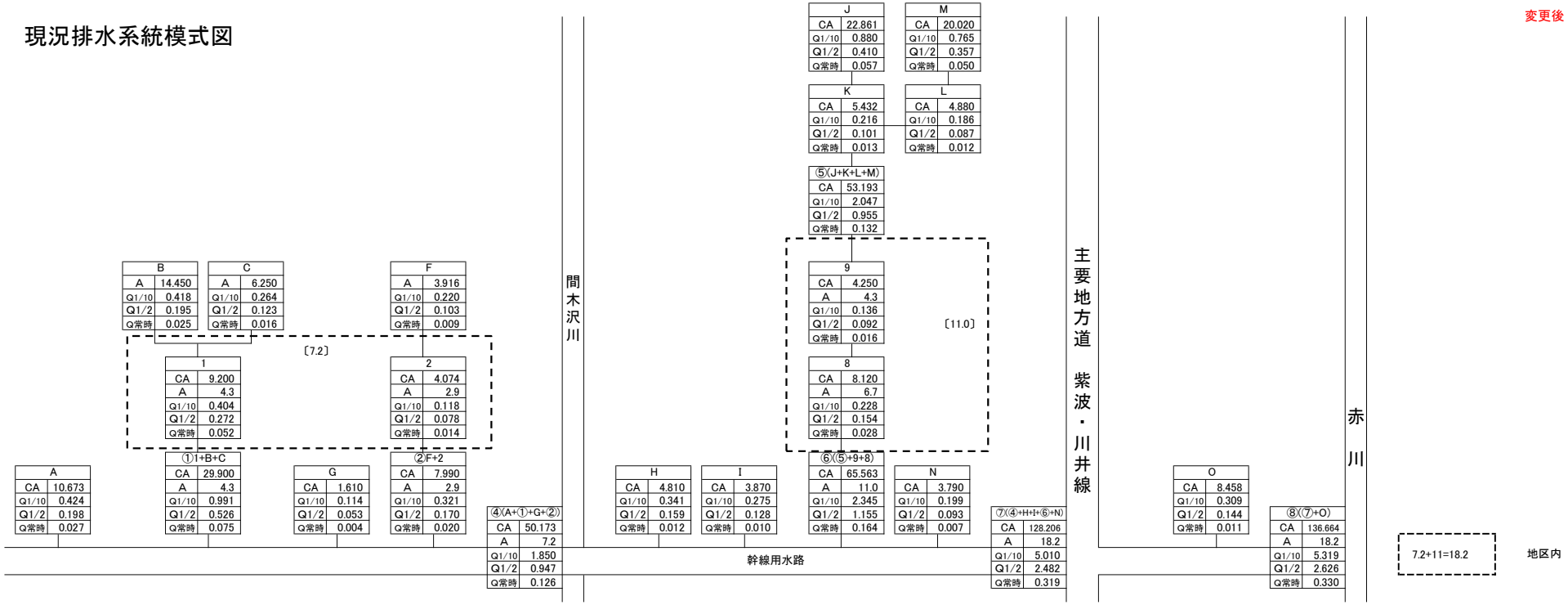
（1）排水系統

別紙現況排水系統図のとおり。（変更前なし）

省略

現況排水系統模式図

変更後



（2）排水施設

上段：変更後
下段：変更前

（イ） 排水方法一覧表　　該当なし

（第5表－4）

事業名	項目 / 施設名		排水面積 500ha以上 個所	500ha以上 ha	500～100ha 個所	500～100ha ha	100ha以下 個所	100ha以下 ha	計 個所	計 ha	排水慣行	現況排水能力 (m^3/s)	備考
（農地整備事業 経営体育成型）	自然	排水路											
		その他											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
	計												
農業用排水施設	自然	排水路					9	136.7	9	136.7		5.319	
〃		その他											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
	計												
合計													

（ロ） 改修を要する施設の一覧表　　該当なし

（第5表－5）

事業名	項目 / 施設名		個所数	構造	規模	新設又は更新年月日	改修を必要とする理由	備考
（農地整備事業 経営体育成型）	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
	計							
農業用排水施設	自然	排水路	9	コンクリート現場打ち	L=1,627 m	H26年度以降	ほ場整備に伴う改修	
〃		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
	計							
合計								

上段：変更後
下段：変更前

（3）排水に関する被害状況

〃
該当なし

（第5表－6）

事業名	項目／施設名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		たん水状況				乾湿状況						平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
					たん水深 (cm)	たん水時間 (hr)	たん水面積 (ha)	たん水量 (千m^3)	田		畑		その他				
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
	計		平均														
			基準年														
合計			平均														
			基準年														

上段：変更後
下段：変更前

3.　河川状況

（1）河川の現況　　〃　　（第5表－7）

該当なし

項目 河川名	流路状況	勾　配	断　面	安全洪水量 (m^3/S)	既住最大洪水量 (m^3/S)	備　考

（2）洪水に関する被害状況　　〃

該当なし　　（第5－8）

項目 河川名	農　用　地 （千円）	農　用　施　設 （千円）	作　物 （千円）	公　共　施　設 （千円）	備　考
各最大被害額 平均被害額					

上段:変更後
下段:変更前

第4節　　道路概況

1.　道路現況

〃

本計画地区は、地区西側を南北に国道456号が縦断し、地区中央を県道紫波江繋線が東西に横断している。また地区北東側を南北に一級町道星山北田線、地区南東側を南北に二級町道星山大巻線が縦断し、それぞれ県道紫波江繋線に接続しており、本地区の幹線道路機能を果たしている。耕作道は区画整備済区域のほ場においては道路幅員4～5mであるが、未整備区域ほ場内においては、道路幅員が2～3mと狭く、大型機械化農業経営に支障をきたしている現状である。

2.　主要道路一覧表

（第6表）

No.	路線名	管理区分別	延長(m)	幅員(m) 全幅	幅員(m) 有効	構造	改修の要否	備考
1	〃 町道星山北田線	〃 町	〃 2,504	〃 7.0	〃 6.1	〃 アスファルト舗装	〃 否	
2	〃 町道星山線	〃 〃	〃 1,104	〃 10.0	〃 5.1	〃 〃	〃 〃	
3	〃 町道星山大巻線	〃 〃	〃 2,638	〃 14.3	〃 5.5	〃 〃	〃 〃	
4	〃 町道沼口線	〃 〃	〃 1,537	〃 9.9	〃 3.0	〃 〃	〃 〃	
5	〃 町道間野村線	〃 〃	〃 779	〃 11.5	〃 5.0	〃 〃	〃 〃	
6	－ 町道上谷地沼口線	－ 〃	－ 283	－ 3.8	－ 2.2	－ 砂利舗装	－ 要	
7	〃 町道間木沢1号線	〃 〃	〃 281	〃 8.0	〃 4.0	〃 アスファルト舗装	〃 否	
8	〃 町道樋ノ口上谷地線	〃 〃	〃 612	〃 4.5	〃 3.0	〃 砂利舗装	〃 要	
9	〃 町道松原間木沢線	〃 〃	〃 2,657	〃 5.5	〃 2.3	〃 〃	〃 〃	
10	－ 町道高屋敷線	－ 〃	－ 642	－ 6.0	－ 2.2	－ アスファルト舗装	－ 否	
11	－ 町道柏森線	－ 〃	－ 343	－ 4.0	－ 2.3	－ 砂利舗装	－ 要	
12	〃 町道間木沢2号線	〃 〃	〃 264	〃 4.2	〃 1.8	〃 〃	〃 〃	

（第6表）

No.	路線名	管理区分別	延長(m)	幅員(m) 全幅	幅員(m) 有効	構造	改修の要否	備考
13	〃 町道境1号線	〃 〃	〃 269	〃 7.5	〃 2.4	〃 アスファルト舗装	〃 否	
14	〃 町道高屋敷樋ノ口1号線	〃 〃	〃 711	〃 2.4	〃 2.2	〃 砂利舗装	〃 要	
15	－ 町道内田線	－ 〃	－ 154	－ 3.2	－ 2.1	－ 〃	－ 〃	
16	〃 町道境2号線	〃 〃	〃 323	〃 4.0	〃 2.2	〃 〃	〃 〃	
17	〃 町道高屋敷樋ノ口2号線	〃 〃	〃 589	〃 2.6	〃 2.2	〃 〃	〃 〃	
18	〃 町道間木沢6号線	〃 〃	〃 222	〃 6.0	〃 6.0	〃 アスファルト舗装	〃 否	
19	〃 町道樋ノ口間野村線	〃 〃	〃 208	〃 2.5	〃 2.3	〃 砂利舗装	〃 要	
20	〃 町道間野村1号線	〃 〃	〃 165	〃 2.6	〃 2.3	〃 〃	〃 〃	
21	－ 町道柏森杉田線	－ 〃	－ 934	－ 4.8	－ 2.3	－ 〃	－ 〃	
22	－ 町道杉田津花線	－ 〃	－ 606	－ 4.2	－ 3.0	－ 〃	－ 〃	
23	－ 町道津花杉田線	－ 〃	－ 661	－ 4.5	－ 3.3	－ 〃	－ 〃	
24	〃 町道間野村金矢線	〃 〃	〃 607	〃 4.9	〃 2.7	〃 〃	〃 〃	
25	〃 町道中田八幡田線	〃 〃	〃 593	〃 2.1	〃 2.0	〃 〃	〃 〃	
26								
27								
28								
29								
30								
31								

上段:変更後
下段:変更前

第5節　　地域農業の概況

1. 産業別就業人口　　岩手県統計年鑑(令和2年度版)　　(R　7　年　6　月現在)
岩手県統計年鑑(平成24年度版)　　(H　25　年　3　月現在)　　(第7表－1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱供給水道業 (人)	運輸通信業 (人)	卸売小売飲食業 (人)	金融保険業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
紫波町	17,028 16,971	1,947 2,553	32 28	3 2	7 14	1,369 1,251	1,845 2,081	82 87	1,313 1,354	2,836 3,686	260 350	1,486 2,082	605 596	5,243 2,887	
計	17,028 16,971	1,947 2,553	32 28	3 2	7 14	1,369 1,251	1,845 2,081	82 87	1,313 1,354	2,836 3,686	260 350	1,486 2,082	605 596	5,243 2,887	
比率(%)	〃 100%	11% 15%	〃 0%	〃 0%	〃 0%	8% 7%	11% 12%	0% 1%	〃 8%	17% 22%	〃 2%	9% 12%	〃 4%	30% 17%	

上段：変更後
下段：変更前

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

2020農林業センサス 岩手県統計書 （R 7 年 6 月現在）
2010農林業センサス 岩手県統計書 （H 25 年 3 月現在）

（第7表－2）

区分 / 市町村名	農家数戸数（戸）	経営耕地広狭別農家数（戸）											1戸当平均農用地面積（ha）						耕地の分散状況		専兼業別農家数（戸）			備考
		0.3 ha 未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～以上			例外規定の適用を受けるもの	田	畑	樹園地	小計	草地	計	一戸当り団地数	団地等面積	専業	兼業 第1種	兼業 第2種	
〃	1,661	－	－	－	－	－	－	－	－	〃	〃		2.60	0.13	0.18	2.91	0.02	2.93	〃	〃	－	－	－	
紫波町	1,608	150	191	376	274	186	210	111	110	－	－		2.70	0.19	0.75	3.64	0.58	4.22	－	－	302	295	901	
計	1,661	－	－	－	－	－	－	－	－	〃	〃	〃	2.60	0.13	0.18	2.91	0.02	2.93	〃	〃	－	－	－	
	1,608	150	191	376	274	186	210	111	110	－	－	0	2.70	0.19	0.75	3.64	0.58	4.22	－	－	302	295	901	
比率 %	－	－	－	－	－	－	－	－	－	〃	〃	〃	89%	4%	6%	99%	1%	100%	〃	〃	－	－	－	
	100%	9%	12%	23%	17%	12%	13%	7%	7%	－	－	0%	64%	5%	18%	86%	14%	100%	－	－	20%	20%	60%	

上段：変更後
下段：変更前

3.　動力農機具及び主要家畜頭数

2020農林業センサス　（R7年6月現在）
2010農林業センサス　（H25年3月現在）　（第7表－3）

項目 / 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	耕運機及びトラクター		動力防除機		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	
〃 紫波町	— 1,501	— 1,213	〃 —	〃 —	— 857	— 834	— 597	— 551	— 70	3 11	— 1,789	109 165	3680 2,598	6 10	
計	— 1,501	— 1,213	〃 —	〃 —	— 857	— 834	— 597	— 551	— 70	3 11	— 1,789	109 165	3680 2,598	6 10	
100戸当数量（台・頭）	— 93		〃 —		— 53		— 37		— 4		— 111		222 162		
利用戸数割合（%）		— 75		〃 —		— 52		— 34		0 1		7 10		0 1	

上段：変更後
下段：変更前

4.　主要作物作付状況

（R7年6月現在）
（H25年3月現在）

（第7表－4）

市町村名			〃 紫波町				計	平均	作付率	備考
総耕地面積（ha）			5,600 5,630				5,600 5,630			
区分 / 作物名			作付面積 （ha）	単位面積当収量 （kg/10a）	作付面積 （ha）	単位面積当収量 （kg/10a）	作付面積 （ha）	単位面積当収量 （kg/10a）	（%）	
田	表作	水稲	2,660 2,680	569 579			2,660 2,680	569 579	66 66	作物統計調査市町村別データ　令和2年度版 岩手県農作物統計　平成24年版
		麦類 （小麦）	781 849	240 171			781 849	240 171	19 21	作物統計調査市町村別データ　令和2年度版 岩手県農作物統計　平成24年版
		豆類 （大豆）	45 54	163 163			45 54	163 163	1 1	作物統計調査市町村別データ　令和2年度版 岩手県農作物統計　平成24年版
	小計		3,486 3,583				3,486 3,583		86 88	
普通畑	春夏作	葉菜類 ねぎ	× 5	1,640 2,200			× 5	1,640 2,200	－ 0	2020センサス、作物統計調査市町村別データ　令和2年度版 紫波農業振興地域整備計画書 平成24年度
		その他野菜類 （きゅうり）	16 27	5,690 6,111			16 27	5,690 6,111	1 1	2020センサス、作物統計調査市町村別データ　令和2年度版 紫波農業振興地域整備計画書 平成24年度
	秋冬作	雑穀類 （そば）	363 254	75 73			363 254	75 73	9 6	作物統計調査市町村別データ　令和2年度版 紫波農業振興地域整備計画書 平成24年度
	小計		379 286				379 286		10 7	
樹園地	果樹（りんご）		145 196	2,050 394			145 196	2,050 394	4 5	2020センサス、作物統計調査市町村別データ　令和2年度版 紫波農業振興地域整備計画書　平成24年度
	その他									
	小計		145 196				145 196		4 5	
計			4,010 4,065				4,010 4,065		100 100	
市町村別延作付率（%）			71.6% 77.2%							総本地面積 5,421ha 5,265ha

×：2020センサスで非公表

上段：変更後
下段：変更前

5.　　農業の動向

（R7年6月現在）
（H25年3月現在）

（第7表－5）

区分＼項目	農家	B	A（現在）	土地	B	A（現在）	主要作物	B	A（現在）	大家畜	B	A（現在）	動力農機具	B	A（現在）	その他	地域指定等	備考
（変化の状況（Cを100とする指数）	総農家数	92 94	81 51	耕地	99 97	90 110	水稲	98 89	102 98	乳用牛	9 40	27 220	耕うん機及びトラクター	92 103	－ 65		農振 〃 S45 振興山村 〃 S45 特定農山村 〃 H5 経営基盤 〃 H17	農林業センサス A:令和2年（2020） A:平成22年（2010） B:平成27年（2015） B:平成17年（2005） C:平成22年（2010） C:平成12年（2000）
	専業農家数	106 116	－ 111	田	97 100	92 114	果樹	28 87	－ 167	肉用牛	80 69	65 43	自脱型コンバイン	91 111	－ 59			
	第1種兼業農家数	86 79	－ 41	畑	85 84	75 76	飼料作物	25 75	－ 60	豚	58 77	50 45	動力田植機	87 101	－ 57			
	第2種兼業農家数	83 95	－ 49	樹園地	141 86	85 100	野菜	94 136	5 116				動力防除機	－ 114	－ 0			
	農業従事者数	81 84	68 49	草地	53 97	53 140	豆類	129 112	100 150									
変化の理由	農地集積により担い手と経営体の割合が増加する傾向が見られる一方、兼業農家は減少している。 経営体の割合が増えている			農地転用が進み農用地の減少が進んでいる。法人による果樹の生産が伸びている。 高収益作物の選択			転作による豆類の作付が増えている。 水田利用再編対策			全体では畜産農家数は減少傾向にある。 農家数の減少			水稲の作付面積が減少しているため、また農地集積や作業受委託により、農機具が減少傾向にある。 高性能機械化					

第6節　地域環境の概況

〃

本地区は、紫波町中心部より東約2kmに位置し、北上川左岸に拓けた水田農業地帯である。地区内は田園的な景観を呈しており、土壌は主に灰色低地土、黒泥土、黄褐色土が分布している。気候は内陸型の盆地気候で冬季は比較的温暖で積雪量はあまり多くない。

周辺の森林は、針葉樹や広葉樹からなる。本地区周辺地域では「いわてレッドデータブック」に登載されている希少植物の生育が確認されている。そのほかに多年草植物が全域に生息している。周辺の河川、ため池、水路には淡水魚が生息している。多くの昆虫類を見ることができる。

上段：変更後
下段：変更前

第4章　一 般 計 画

第1節　事業計画の要旨

1. 要　旨

〃

本計画において、揚水機場用排水路の更新整備を行い、水管理や維持管理の負担を軽減し、営農意欲の向上と担い手の育成、確保につなげ、農業経営の安定化を図るものである。

2. 事業別面積

（第8表）

事業名 / 土地利用区分 / 事業目的	農業用用排水														計	備考
	田 ha	輪換耕地 ha	普通畑 ha	牧草畑 ha	果樹園 ha	その他 ha	小計 ha	田 ha	輪換耕地 ha	普通畑 ha	牧草畑 ha	果樹園 ha	その他 ha	小計 ha	ha	
農地整備事業（経営体育成型）農業用用排水施設	194.8 221.2	〃 －	0.4 －	〃 －	〃 －		195.2 221.2								195.2 221.2	
計	194.8 221.2	〃 －	0.4 －	〃 －	〃 －		195.2 221.2								195.2 221.2	

上段：変更後
下段：変更前

第2節　営農計画及び土地利用計画

1．営農計画の概要

〃

本地区では、集落営農組織が中心となり、集積を行うことにより、効率的・安定的な水田農業経営に取り組んでいる。今後の農業機械の効率的な利用を検討した結果、水田は水稲を中心として作付するほか、新たに大豆栽培を導入する計画としている。

2．土地利用区分

（第9表－1）

事業名	区分＼土地利用区分	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	(ha)	小　計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農地整備事業 （経営体育成型） 農業用用排水施設	現　況	203.4 221.2		－ 					203.4 221.2				203.4 221.2	
	計　画	194.8 221.2		0.4 －					195.2 221.2				195.2 221.2	
	現　況													
	計　画													
	現　況													
	計　画													
	現　況													
	計　画													
計	現　況	203.4 221.2		－ 					203.4 221.2				203.4 221.2	
	計　画	194.8 221.2		0.4 －					195.2 221.2				195.2 221.2	

3.　作付方法

上段：変更後
下段：変更前

（第9表－2）

事業名	項目	経営類型	区分／地目	1年目 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年目 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年目 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農地整備事業（経営体育成型）区画整理	現況	水稲+野菜	田畑				〃 水稲												〃 水稲												〃 水稲								
						〃 小麦												〃 小麦											〃 小麦										
	計画	水稲+野菜	田畑				〃 水稲												〃 水稲												〃 水稲								
						〃 小麦												〃 小麦											〃 小麦										
									〃 大豆												〃 大豆												〃 大豆						
								〃 WCS												〃 WCS												〃 WCS						
										〃 そば												〃 そば												〃 そば				
〃 農業用用排水施設	現況	水稲+野菜	田				〃 水稲												〃 水稲												〃 水稲								
						〃 小麦												〃 小麦											〃 小麦										
	計画	水稲+野菜	田				〃 水稲												〃 水稲												〃 水稲								
						〃 小麦												〃 小麦											〃 小麦										
									〃 大豆												〃 大豆												〃 大豆						
										〃 そば												〃 そば												〃 そば				

上段：変更後
下段：変更前

4.　生産計画

※面積は、本地面積である。　（第9表－3）

事業名	項目／地名		作物名	作付面積（ha）			作付率（%）		単位面積当収穫量（kg/10a）			生産量（t）			同左生産量増減の内訳（t）		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加	
農地整備事業（経営体育成型）区画整理	田	表作	水稲	71.7 70.0	38.3 39.5	△ 33.4 △ 30.5	63.9 81.0	37.4 46.3	564.0 570	607.5 604	43.5 34.0	404.4 399	232.7 239	△ 171.7 △ 160.5	△ 188.4 △ 173.9	16.7 13.4	
		表作	小麦	12.5 12.2	27.1 27.9	14.6 15.7	11.1 14.1	26.3 32.7	248.0 177	422.0 306	174.0 129.0	31.0 22	114.3 85	83.3 63.8	61.6 27.8	21.7 36.0	
		表作	大豆	－ 	13.5 4.0	13.5 4.0	－ 	13.2 4.7	143.0 159	232.0 262	89.0 103.0	－ 	31.3 10	31.3 10.4	31.3 6.4	－ 14.3	
		表作	WCS	－ 	9.0 9.2	9.0 9.2	－ 	8.8 10.8	2,400.0 2,576	2,586.0 2,731	186.0 155.0	－ 	232.7 251	232.7 251.2	232.7 237.0	－ 14.2	
		表作	そば	－ 	13.5 3.0	13.5 3.0	－ 	13.2 3.5	67.0 54	67.0 59	0.0 5.0	－ 	9.0 2	9.0 1.7	9.0 1.6	－ 0.1	
		表作	調整水田	28.0 3.5		△ 28.0 △ 3.5	25.0 4.1	－									
	小計			112.2 85.7	101.4 83.6	△ 10.8 △ 2.1	100.0 99.2	98.9 98.0									
	普通畑	表作	大豆	－ 0.7	1.1 1.7	1.1 1.0	－ 0.8	1.1 2.0	143	143	－	－	1.6	1.6	1.6	－	
	小計			－ 0.7	1.1 1.7	1.1 1.0	－ 0.8	1.1 2.0									
合計				112.2 86.4	102.5 85.3	△ 9.7 △ 1.1	〃 100.0	〃 100.0									

上段：変更後
下段：変更前

4.　生産計画

※面積は、本地面積である。　（第9表－3）

事業名	項目／地名		作物名	作付面積（ha）			作付率（%）		単位面積当収穫量（kg/10a）			生産量（t）			同左生産量増減の内訳（t）		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加	
〃 農業用用排水施設	田	表作	水稲	62.6 93.1	60.0 90.6	△ 2.6 △ 2.5	65.3 73.4	62.6 71.4	564.0 570	574.0 570	10.0	353.0 531	344.5 516	△ 8.5 △ 14.2	△ 14.7 △ 14.3	6.2 0.1	
		表作	小麦	10.8 10.9	〃 10.9	0.1 0.0	11.3 8.6	11.4 8.6	248.0 177	248.0 177	〃 0.0	26.8 19	27.0 19	0.2 0.0	0.2	－	
		表作	大豆		12.5 12.7	12.5 12.7		13.0 10.0	143.0 159	143.0 159	〃 0.0		17.9 20.1	17.9 20.1	17.9 20.2	－ △ 0.1	
		表作	そば		12.5 12.7	12.5 12.7		13.0 10.0	67.0 3,993	67.0 3,993	〃 0.0		8.4 507	8.4 507.1	8.4 507.1	－	
		表作	調整水田	22.5 22.9		△ 22.5 △ 22.9	23.4 18.0										
	小　計			95.9 126.9	95.9 126.9		〃 100.0	〃 100.0									
	普通畑																
	小　計																
合　計				95.9 126.9	95.9 126.9		〃 100.0	〃 100.0									

上段：変更後
下段：変更前

5.　労働改善計画

（第9－4）

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積 (ha)	単位面積等労働投下量 (hr/10a) 区　分	現　況	計　画	増　減	備　考
農地整備事業 (経営体育成型) 農業用用排水 施設	田	30区画乾田 NO.1-2 水　稲	60.0	人　　力	14 14	8 14	△ 6 0	NO1-2 NO1-3の水稲の機械作業については個別農家が実施しており、稼働単価に差がある。
		30区画乾田 NO.1-3 水　稲	60.9	機 械 力	〃 13	8 13	△ 5 0	
		小麦 －	10.9 －	人　　力	7 －	3 －	△ 4 －	体系NO.18 －
				機 械 力	13 －	10 －	△ 3 －	
		大豆 －	12.5 －	人　　力	8 －	4 －	△ 4 －	体系NO.22 －
				機 械 力	13 －	10 －	△ 3 －	
		そば －	12.5 －	人　　力	5 －	2 －	△ 3 －	
				機 械 力	7 －	5 －	△ 2 －	
	計		95.9 60.9					
合　　計			95.9 60.9					

上段：変更後
下段：変更前

6.　級地別土地利用区分

〃
該当なし

（第9表－5）

区分 級地名 / 土地利用区分		農用地造成（ha）					干拓（ha）					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草畑）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑　園）											
その他												
計												

7.　土地配分計画

〃
該当なし

（第9表－6）

項目 / 区分	配分戸数（戸）	地目別配分計画（ha）								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草地	樹園地				
増反入植	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	
	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	

上段：変更後
下段：変更前

第3節　用水計画

1．計画基準年

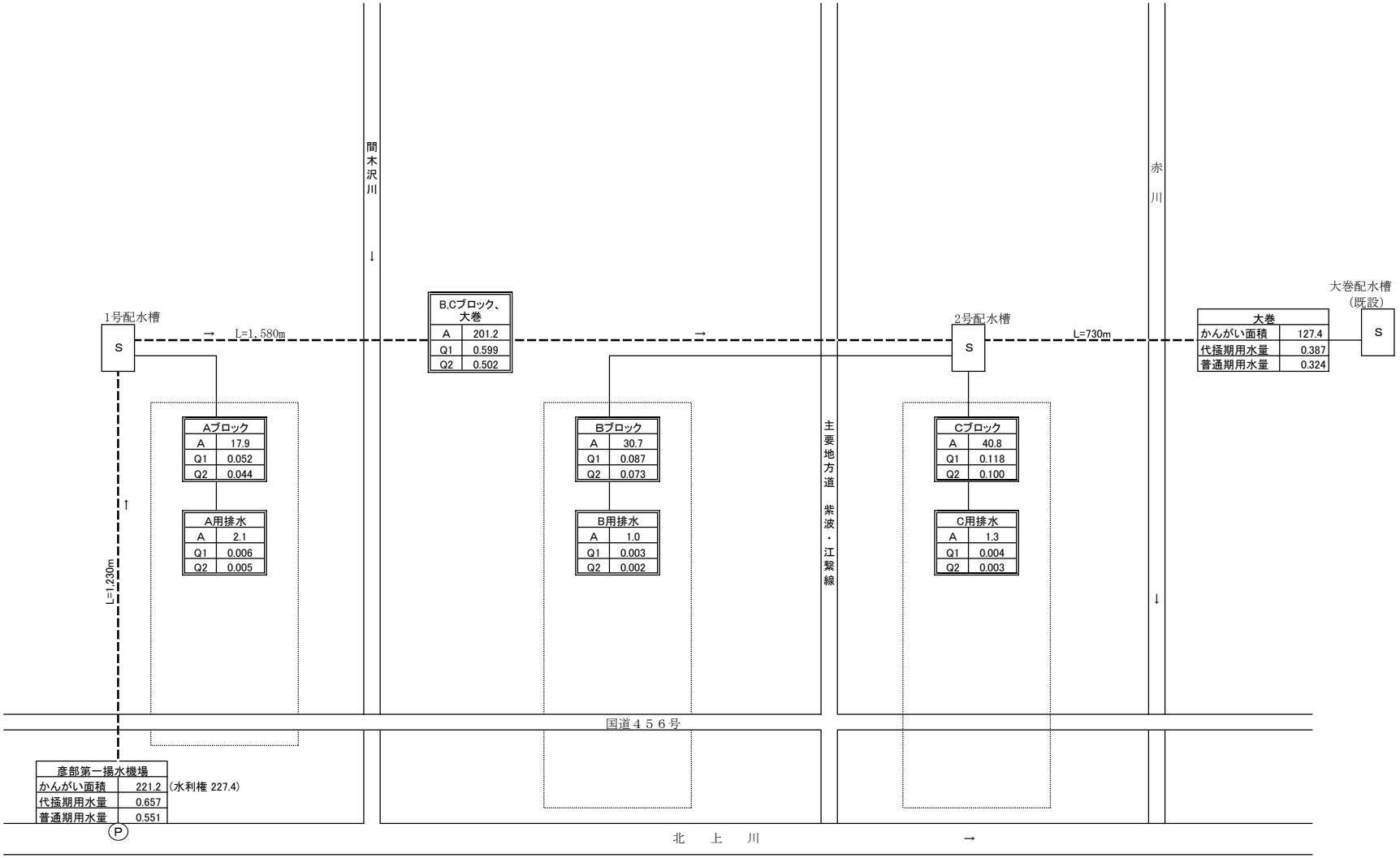
〃
かんがい期有効雨量、かんがい期総干天日数、かんがい期連続干天日数とも1/10確率年に近い年を基準年とすることから、昭和57年を基準年とする。

2．計画かんがい方式

〃
水稲　・・・・・・・・　管水路

〃
畑作物　・・・・・・・・　該当なし

3. 計画用水系統


間木沢川
赤川
1号配水槽
S
L=1,580m
B,Cブロック、大巻
A 201.2
Q1 0.599
Q2 0.502
2号配水槽
S
L=730m
大巻配水槽（既設）
S
大巻
かんがい面積 127.4
代掻期用水量 0.387
普通期用水量 0.324
Aブロック
A 17.9
Q1 0.052
Q2 0.044
A用排水
A 2.1
Q1 0.006
Q2 0.005
Bブロック
A 30.7
Q1 0.087
Q2 0.073
B用排水
A 1.0
Q1 0.003
Q2 0.002
Cブロック
A 40.8
Q1 0.118
Q2 0.100
C用排水
A 1.3
Q1 0.004
Q2 0.003
主要地方道 紫波・江繋線
L=1,230m
国道４５６号
彦部第一揚水機場
かんがい面積 221.2 (水利権 227.4)
代掻期用水量 0.657
普通期用水量 0.551
P
北上川

変更後

3.　計画用水系統

間木沢川
赤川
吐水槽
S
大巻配水槽
（既設）
S
大巻
かんがい面積 91.5
代掻期用水量 0.278
普通期用水量 0.201
Aブロック
A 16.8
Q1 0.062
Q2 0.048
A用排水
A 1.7
Q1 0.006
Q2 0.005
Bブロック
A 33.7
Q1 0.112
Q2 0.084
B用排水
A 1.7
Q1 0.006
Q2 0.004
Cブロック
A 32.5
Q1 0.107
Q2 0.079
C用排水
A 0.9
Q1 0.003
Q2 0.002
主要地方道 紫波・江繋線
国道４５６号
彦部第一揚水機場
かんがい面積 178.8 （水利権 186.4）
代掻期用水量 0.574
普通期用水量 0.423
P
北　上　川

上段：変更後
下段：変更前

4．計画用水量

（1）かんがい用水

（第10表-1-1）

項目 系統名	種別	面積（ha） 事業名 農業用排水施設			計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量 mm/日	代掻き期 計画代掻き単位用水量 mm	面積 ha	畑地かんがい 平均かん水深 一日当たり計画 mm	平均間断日数 日	面積 ha	田畑輪換 水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量 mm/日	代掻き期 計画代掻き単位用水量 mm	面積 ha	畑地かんがい 平均かん水深 一日当たり計画 mm	平均間断日数 日	面積 ha	消費水量 m³/s	損失量 %	粗用水量 平均 m³/s	最大 m³/s	備考
北上川		178.8 221.2			178.8 221.2	16, 19, 20, 24 19	133,134,130,129 100～129	178.8 221.2	〃 —	〃 —	〃 —				〃 —	〃 —	〃 —	0.522 0.205	〃 10	0.423 0.228	0.574 –	
計		178.8 221.2			178.8 221.2													0.522 0.205		0.423 0.228	0.574 –	

（※） 減水深は平成27年の減水深調査結果により変更するもの

上段:変更後
下段:変更前

（2）営農飲雑用水

〃
該当なし

（第10表-1-2）

区分	利用目的	対象面積（ha） 事業名			日当たり給水量		補給回数 （回）	関係戸数 （戸）	備考
				計	単位給水量 （ℓ/日）	最大給水量 （ℓ/日）			

上段：変更後
下段：変更前

5.　水源計画

（1）水利用計画

（第10表－2－2－1による）

区分 ＼ 項目		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不　足　量		水源依存量		水源工積	備考
						水源名	取水地の利用可能量	田畑面利　用可能量	純不足量	全不足量	水源名	水量		
		a（千m³）	b（千m³）	c=a−b（千m³）	d=c/(l−α)（千m³）		e（千m³）	f（千m³）	g=c−f（千m³）	h=d−e（千m³）		（千m³）		損失量：α
事業名		3,926 3,302	〃 −	3,926 3,302	4,362 3,369	彦部第一揚水機場	4,362 5,338	〃 −	〃 0.0	〃 0.0		4,362 3,369		〃 0.1
	計	3,926 3,302	〃 −	3,926 3,302	4,362 3,369		4,362 9,700	〃 −	〃 0.0	〃 0.0		4,362 3,369		〃 0.1

上段：変更後
下段：変更前

（第10表－2－2-1）

区分		全　　域		全　　域		備　　考
		現　　況（㎥/s）		計　　画（㎥/s）		
		代 掻 期	普 通 期	代 掻 期	普 通 期	
純用水量		0.535 0.295	0.396 0.271	0.517 0.290	0.381 0.251	
損失水量		0.059 0.027	0.044 0.025	0.057 0.026	0.042 0.023	
全用水量		0.594 0.268	0.440 0.246	0.574 0.264	0.423 0.228	
利用可能量	北上川	0.594 0.663	0.440 0.556	0.574 0.663	0.423 0.556	
	ため池	－ 0.050	－ 0.046	－ 0.050	－ 0.046	
	計	0.663 0.713	0.556 0.602	0.574 0.713	0.423 0.602	
不足量		〃 0	〃 0	〃 0	〃 0	

上段：変更後
下段：変更前

（2）用水対策

（ア）井堰及び自然取入口

〃
該当なし

（第10表－3）

項目 取水施設	河川名	流域面積(km²)	かんがい面積（ha）			取　水　量		渇水量(m³/s)	備　考
			事　業　名			最大(m³/s)	平均(m³/s)		
					計				

上段：変更後
下段：変更前

（イ）貯　水　池　　〃
該当なし

（第10表－4）

項目 / 取水施設	流域面積(km2)		かんがい面積（ha）			有効貯水量（千m³）	利用貯水量（千m³）	利用回数（回）	利用取水量（m³/s）	備　考
			事　業　名							
	直接	間接	区画整理		計					

（ウ）揚　水　機

（第10表－5）

項目 / 取水施設	水源名	かんがい面積（ha）				所要水量		揚　水　機				備考
		事　業　名				最　大（m³/s）	平　均（m³/s）	実揚程（m）	揚水量（m³/s）	台　数（台）	全揚水量（m³/s）	
		用排水施設			計							
彦部第一揚水機場	北上川	178.8 221.2			178.8 221.2	0.574 0.66		16.9 11.4	0.574 40.0	〃 2		

上段：変更後
下段：変更前

（エ）用水路

（第10表－6）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名 農業用用排水施設		計	最大通水量（m³/s）	延長（km）	構造	備考
幹線用水路	178.8 221.2		178.8 221.2	0.574 0.117	2.5 3.2	FRPM700、VU450、VU350 VU400	
支線用水路	(25.8) (221.2)		(25.8) (221.2)	(0.084) 0.117	1.1 1.7	VU450～VU350 VU300～VU75	
計	178.8 221.2		178.8 221.2	0.574 0.234	3.6 4.9		

（　）は内数

変更前の4.9kmは、数量の計上方法に誤りがあったもの。

（オ）その他の水源施設

〃
該当なし

（3）水温水質

〃
該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第4節　排水計画

1. 計画基準雨量

		127.3	81.3
最大	24 時間雨量	129.1 ㎜（1／10年）	81.6 ㎜（1／2年）
		66.2	44.4
最大	4 時間雨量	67.0 ㎜（1／10年）	44.7 ㎜（1／2年）
		39.5	21.5
最大	1 時間雨量	40.6 ㎜（1／10年）	21.8 ㎜（1／2年）

2. 計画排水方式

〃

自然流下排水方式

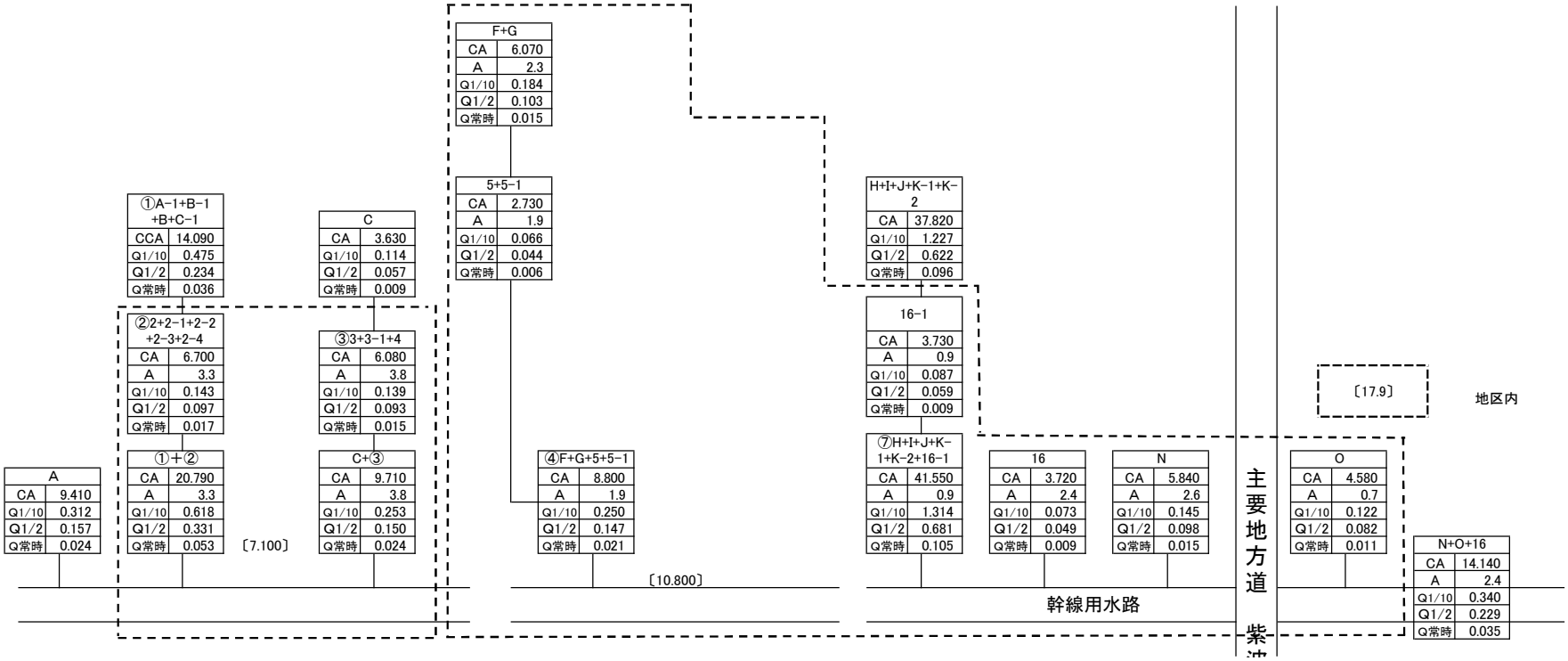
3. 計画排水系統

変更前

該当なし

変更後

計画排水系統模式図



上段:変更後
下段:変更前

4. 計画排水量

該当なし

（第11－1）

項目 / 排水系統名	受益面積(ha) 事業名			流域面積 (km²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m³/s/km²)		基底流出量 (m³/s/km²)		全排出量(m³/s)			単位排水量 (m³/s/km²)		備考
	（農地整備事業 経営体育成型 区画整備）	農業用用排水施設	計	山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地 自然排水	平地 機械排水	山地	平地	
北上川	(10.9) －	17.9 －	17.9 －	6.42 －	0.29 －	127.3 －	3.40 －	1.38 ～2.99 －			18.4 －	0.64 －		3.40 －	1.38 ～2.99 －	区画整理は農業用排水と重複
計	(10.9) －	17.9 －	17.9 －	6.42 －	0.29 －						18.4 －	0.64 －				

上段：変更後
下段：変更前

5　排水対策

（1）排水水門　　〃
該当なし

（第11表－2）

項目／名称	流域面積（km²）	受益面積（ha） 事業名			計画		排水本川			備考
				計	排水量（m³/s）	地区内たん水深（m）	名称	計画洪水量（m³/s）	計画洪水位（m）	

（2）排水機　　〃
該当なし

（第11表－3）

項目／名称	流域面積（km²）	受益面積（ha） 事業名			計画排水量		排水機				備考
				計	排水量（m³/s）	地区内たん水深（m）	実揚程（m）	排水量（m³/s）	台数（台）	全排水量（m³/s）	

上段：変更後
下段：変更前

(3) 排水路　　－
該当なし

（第11表－4）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名		計	計画排水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	排水本川 名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	備考
幹線水路 －	6.7 －	17.9 －		17.9 －	19.0 －	1.6 －	HF500×500～1400×800 －	北上川 －	－ －	－ －	
計	6.7 －	17.9 －		17.9 －		1.6 －					

開渠の用水路(L=1.6km)を排水路に変更

上段：変更後
下段：変更前

（4）その他　　〃
該当なし

6．たん水検討　　〃
該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第5節　道路計画

1. 道路及び索道

〃
該当なし

（第12表－1）

項　目 路線名	幅(有効)×延長 (m)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
計				

〃
該当なし

（第12表－2）

項　目 路線名	能　力 (t/hr)	延　長 (m)	接続道路名	備　　考

上段：変更後
下段：変更前

2. 路線配置図

〃
別添計画平面図(S=1/25,000)参照

上段：変更後
下段：変更前

第6節　農用地造成計画

1. 農用地造成計画　　該当なし
〃

（第13表－1）

項　目 地 目 名	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標準区画の形状	備　　考

上段：変更後
下段：変更前

2. 土壌改良　　〃
該当なし

（第13表－2）

項目 区分	面積 (km^2)	土壌統(区)名	PH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量(t/ha)			備考
			H2O	KCL			石灰 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

上段:変更後
下段:変更前

第7節　洪水調節計画

〃
1.　計画基準雨量　　該当なし

〃
2.　計画洪水量及び調節量　該当なし

（第14表－1）

地　　点	流域面積 (km^2)	洪　水到達時間 (hr)	計　画洪水量 (m^3/s)	安　全洪水量 (m^3/s)	必　要調節量 (m^3/s)	ピーク時調 節 量 (m^3/s)	ピーク時調節後流量 (m^3/s)	調 節 後最大流量 (m^3/s)	調節前後の最大流量の差 (m^3/s)	最　大調節量 (m^3/s)

〃
3.　貯水池　　該当なし

（第14表－2）

項目 / 貯水池名	流 域 面 積		計　画洪水量 (m^3/s)	貯　水　量			計　画調節流量 (m^3/s)	可　能調節流量 (m^3/s)	備　　考
	直　接 (km^2)	間　接 (km^2)		有　効 (千m^3)	洪　水調節容量 (千m^3)	多目的 (千m^3)			

上段:変更後
下段:変更前

4　洪水調節検討　　〃
該当なし

(1) 河川改修計画との関係

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5.　管理計画　　〃
該当なし

(1) 管理機構

(2) ダム管理操作上の各種基準

(3) 洪水調節要領

第8節　干拓計画　　〃
該当なし

(第15表)

項目 / 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (IPM)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

上段:変更後
下段:変更前

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1)区画の形状　　〃
該当なし

(第16表－1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割　合 (%)	田　差 (m)	備　考
計					

(2)表土扱い　　〃
該当なし

(第16表－2)

面　積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土　量 (m^3)	備　考

上段：変更後
下段：変更前

(3) 末端道水路配置図

〃

別添参照

上段:変更後
下段:変更前

2. 暗渠排水　　該当なし
〃

（第16表－3）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名			土壌統(区)分	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方式	備考
	農地整備事業（経営体育成型）区画整備		計						
計									

上段：変更後
下段：変更前

3．客 土　　〃
該当なし

（第16表－4）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名			土壌統(区)名	減水深(mm/day)		作土の厚さ(cm)		10a当り客土量 (m³)	土壌の性質		備考
			計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地(客土材料) (%)	
計												

上段:変更後
下段:変更前

4. 農地保全

(1)防災林　　〃 該当なし

(第16表－5－1)

項　目 区　分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間　隔 (m)	備　考
計				

(2)排水工　　〃 該当なし

(第16表－5－2)

項　目 区　分	基準雨量 (mm/day)	土　性	流出率	排水量		備　考
				単位排水量 (m^3/s/ha)	全排水量 (m^3/s)	
計						

上段：変更後
下段：変更前

(3) 侵食(崩壊)防止工　　〃
該当なし

(第16表－5－3)

項　目 施設名	位　　置	支配面積(ha)	機　　能	備　　考
計				

上段：変更後
下段：変更前

第10節　　老朽のため池改修計画

1 洪水吐改修計画

（1）計画基準雨量

〃

該当なし

（2）計画洪水量

〃

該当なし

2. 堤体補強計画

〃

該当なし

3. 取水施設改修計画

〃

該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第1節　用水施設

1. 貯水池　　該当なし

（第17表－1）

名　称				位　置						備　　考
堤　体	形　式	流域面積（km）		堤　高	堤　長	堤体質	基盤地盤	貯水量（千m^3）		
		直　接	間　接	（m）	（m）	（千m^3）	地　　質	総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	形　式	排水量（m^3/s）	備　考	取水施設	形　式	取水量（m^3/s）	放流施設	形　式	取水量（m^3/s）	

上段：変更後
下段：変更前

2. 頭首工　　該当なし

（第17表－1）

名　称					位　置				備　　考
形　式	堤　高(m)	堤　　長（m）			取　水　位 (m)	取　水　量 (m^3/s)	付帯施設		
		固　定　部	可　動　部	計					

上段:変更後
下段:変更前

3. 揚水機

(第17表－3)

項目 / 名称	位置	揚水量 (m^3/s)	揚程 (m) 実揚程	揚程 (m) 全揚程	揚水機 形式	揚水機 口径 (mm)	揚水機 台数 (台)	原動機 形式	原動機 動力	原動機 台数 (台)	備考
彦部第1揚水機場	〃 岩手県紫波郡紫波町犬吠森字間木沢18番15地先(北上川左岸)	0.574 0.66	16.9 11.4	23.0 12.5	〃 渦巻型	400 250	〃 2	〃 電動機	110kw 160kw	〃 2	

上段：変更後
下段：変更前

4. 用水路

（第17表－4）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名				通水量	延長（km）			構造	勾配	主要構造物	備考
	農業用用排水施設整備			計	（m^3/s）	総延長	開渠	その他				
幹線用水路	178.8			178.8	0.574	2.5	－	2.5	FRPM700～VU350	－	－	
支線用水路	(25.8) 221.2			(25.8) 22.1.2	(0.084) 0.117	1.1 16.4	〃 —	1.1 —	VU450～VU350 VU300～VU75	〃 1/600	〃 —	
計	178.8 221.2			178.8 221.2	0.574 0.117	3.6 16.4	－	3.6				

（　）は内数

変更前の16.4kmは、数量の計上方法に誤りがあったもの。

〃

5. その他かんがい施設 該当なし

上段:変更後
下段:変更前
（第17表－5）

項　目 施 設 名	構　造	規　模	数　量	備　考

上段:変更後
下段:変更前

第2節　　排水施設

1．排水水門　　〃 該当なし

（第18表－1）

項目 / 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m^3/s)	備考

2．排水機　　〃 該当なし

（第18表－2）

項目 / 名称	位置	排水量 (m^3/s)	揚程		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

上段：変更後
下段：変更前

3. 排水路　　〃 該当なし

（第18表－3）

項目 / 名称	受益面積（ha） 事業名 農地整備事業（経営体育成型）区画整理	〃 農業用用排水施設	計	排水量 (m^3/s)	延長（km） 総延長	開水路	その他	構造	勾配	主要構造物	備考
幹線水路 －	(10.9) －	17.9 －	17.9 －	19.0 －	1.6 －	1.4 －	0.2 －	HF500×500～1400×800	1/800～1/2800	水槽工、道路横断暗渠工	区画整理は農業用排水と重複
計	(10.9) －	17.9 －	17.9 －	19.04 －	1.6 －	1.4 －	0.2 －				

開渠の用水路(L=1.6km)を排水路に変更

4. その他排水施設　　〃 該当なし

上段:変更後
下段:変更前

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表　　該当なし

(第19表－1)

項目 区分	路線名	幅(有効)(m)×延長(m)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (個所)				
計										

上段：変更後
下段：変更前

(2) 道路主要構造物　　〃 該当なし

（第19表－２）

項目 / 路線名	名　称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道　　〃 該当なし

（第19表－3）

項目 / 路線名	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力	

上段：変更後
下段：変更前

第4節　農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根　　〃 該当なし

（第20表－1）

項　目 区　分	樹　　種	樹　　径 （cm）	ha当り本数 （本/ha）	面　　積 （ha）	工　　法	備　　考
計						

(2) 除礫　　〃 該当なし

（第20表－2）

項　目 区　分	対象土層の厚さ （cm）	ha当り標準礫量 （本/ha）	面　　積 （ha）	工　　法	備　　考
計					

上段：変更後
下段：変更前

(3) 開墾作業　　〃 該当なし

（第20表－3）

区分 ＼ 項目		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法			
計				

2. 土壌改良　　〃 該当なし

（第20表－4）

路線名 ＼ 項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
計					

上段:変更後
下段:変更前

第5節　洪水調節施設

1. 貯水池　該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工　　〃 該当なし

(第21表－2)

名　　称			位　置			計画洪水位 (m)	付帯施設等	備　　考
			堤　　長 (m)					
形　　式	集水面積(km^2)	堤　高 (m)	固定部	可動部	計			

(2) 導水路　　〃 該当なし

(第21表－3)

項目 / 名称	通水量 (m^3/s)	延　　長			構　造	勾　配	備　考
		総延長	トンネル	その他			

上段：変更後
下段：変更前

第6節　干拓施設

1．堤防

〃
該当なし

（第22表－1）

項目 / 名称	形式	延長 (m)	構造					原地盤標高(m)		備考
			堤長標高(m)	盛土幅	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平　均	最低	

2．潮止め

〃
該当なし

（第22表－2）

項目 / 名称	工法	幅見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備　　考

3．付属施設

〃
該当なし

4．埋立

〃
該当なし

（第22表－3）

項目 / 路線名	面　　積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m^3)	施行方法	備　　考
計					

第7節　農用地整備施設

上段：変更後
下段：変更前

1．区画整理　　〃 該当なし

（第23表－1）

工　区　名	面　積(ha)	整　地　工		表　土　扱　い		備　　考
		標準区間	土　量(m3)	面　積　(ha)	土　量(m3)	
計						

2．暗渠排水　　〃 該当なし

（第23表－2）

項目 / 区分	面積(ha) 事業名			集　水　渠				吸　水　渠					集水渠出口以下の排水施設			備考
	区画整理		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	延長 (m/ha)	名　称	構　造	数量 (m/ha)	
計																

上段：変更後
下段：変更前

3．客土　　〃 該当なし

（第23表－3）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名			客入土量 (m^3)	土捨場土量 (m^3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
			計					
計								

4．除礫　　〃 該当なし

（第23表－4）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量(m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

上段：変更後
下段：変更前

5．農地保全　　〃
該当なし

(1) 防災林

（第23表－5）

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
計						

(2) 排水路　　〃
該当なし

（第23表－6）

項目 区分	延長 (m)	流量 (m^3/S)	構造	備考
計				

上段:変更後
下段:変更前

(3) 侵食防止工　　〃
該当なし

（第23表－7）

項　目 施 設 名	構　造	数　量	備　考
計			

上段:変更後
下段:変更前

第8節　老朽ため池改修施設

〃

1．貯水池　　該当なし

（第24表）

名　称					位　置			
堤　体	形　式	流　域 (km^2)	堤　高 (m)	堤　長 (m)	堤体積 (m^2)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m^3)	備　考
洪水吐	形　式	洪水量 (m^3/s)	規格 (m)	備　考	取水施設	形　式	取水量 (m^3/s)	備　考

2．堤体補強施設

（1）法面保護施設

〃

該当なし

（2）漏水防止工

〃

該当なし

上段：変更後
下段：変更前

第6章　附帯工事計画

〃
該当なし

第7章　工事の着手及び完了の予定時期

工　期

〃

着手	平成	26	年度
完了	令和 平成	8 31	年度

第8章　環境との調和への配慮

〃

環境との調和への配慮として、ため池周辺に生育する希少植物の生育環境を損なわないように、ため池の改変を最小限とする計画とする。

上段：変更後
下段：変更前

第9章　換地計画の概要

第1節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

〃
該当なし

第2節　換地区の設定

1．換地区の名称、所在、面積

〃
該当なし

（第25表-1）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　　積　(ha)

2．換地区を設定する理由

〃
該当なし

第3節　換地計画樹立の基本方針

上段:変更後
下段:変更前

1．従前の土地の地積の基準

〃
該当なし

2．用途別予定地積　　該当〃なし

（単位:ha）　（第25表-3）

換地区名	用途（取得予定者）／前　後	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地（令第1条の4（）書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			合計	特定用途用地			異種目換地	農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計	合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	小計		宅地	その他	計													
	従前の土地																												
	換　地																												
	従前の土地																												
	換　地																												
合計	従前の土地																												
合計	換　地																												

上段：変更後
下段：変更前

3．農用地集団化の方針　　〃
該当なし

（第25表-4）

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い

4．非農用地換地の方法　　〃
該当なし

（第25表-5）

区分 換地区名	用途	非農用地区域の 位置の概略	面積 （㎡）	換地の方法	換地取得予定者	その他

上段:変更後
下段:変更前

第4節　土地の評価及び清算の方法

1．評価の方法

〃

該当なし

2．清算の方法

〃

該当なし

第5節　換地計画樹立の年度計画　　〃 該当なし

（第25表-6）

区分 換地区名	一時利用地の指定 予　定　年　度	換地計画の決定 予　定　年　度	換　地　処　分 予　定　年　度	備　　考

第6節　換地処分の時期に関する特則

〃

該当なし

第10章　事業費の総額及び内訳

上段:変更後
下段:変更前

事　業　区　分	事　業　費		資　金　計　画				備　考
	費　　目	金　　額	国費(50.0%)	県費(30.0%)	地元負担(20.0%)		
					市町村(5%)	農家(15.0%)	
当該事業 農地整備事業 (経営体育成型) (農業用用排水施設)	純工事費	678,000 418,000	339,000 209,000	203,400 125,400	33,900 20,900	101,700 62,700	
	測量試験費	54,000 48,000	27,000 24,000	16,200 14,400	2,700 2,400	8,100 7,200	
	用地買収補償費	16,000 2,000	8,000 1,000	4,800 600	800 100	2,400 300	
	換地費						
	計	748,000 468,000	374,000 234,000	224,400 140,400	37,400 23,400	112,200 70,200	
	費　　目	金　　額	国費(50.0%)	県費(30.0%)	地元負担(20.0%)		
					市町村(5%)	農家(15.0%)	
	工事雑費						
	事務費						
	計						
合計		748,000 468,000	374,000 234,000	224,400 140,400	37,400 23,400	112,200 70,200	
当該事業 農地整備事業 (経営体育成型) (農業用用排水施設) 区画整理重複受益分	費　　目	金　　額	国費(50.0%)	県費(30.0%)	地元負担(20.0%)		
					市町村(5%)	農家(15.0%)	
	純工事費	601,000 650,000	300,500 325,000	180,300 195000	30,050 32,500	90,150 97,500	
	測量試験費	48,000 55,000	24,000 27,500	14,400 16500	2,400 2,750	7,200 8,250	
	用地買収補償費	14,000 3,000	7,000 1,500	4,200 900	700 150	2,100 450	
	換地費						
	計	663,000 708,000	331,500 354,000	198,900 212,400	33,150 35,400	99,450 106,200	
	費　　目	金　　額	国費(50.0%)	県費(30.0%)	地元負担(20.0%)		
					市町村(5%)	農家(15.0%)	
	工事雑費						
	事務費						
	計						
合計		663,000 708,000	331,500 354,000	198,900 212,400	33,150 35,400	99,450 106,200	
総合計		1,411,000 1,176,000	705,500 588,000	423,300 352,800	70,550 58,800	211,650 176,400	

上段:変更後
下段:変更前

第11章　効　　用

区分 / 効果項目	区画整理（用排水重複分）		農業用用排水施設		備　考
	便益額（千円）	所得額（千円）	便益額（千円）	所得額（千円）	
農業生産向上効果	40,829	△ 5,558	36,738	983	
（作物生産効果）	40,441	△ 3,957	33,779	△ 687	
農業経営向上効果	150,726	170,500	57,812	63,312	
（営農経費節減効果）	109,405	110,638	15,966	15,966	
農業経営向上効果	△ 4,841	2,235	△ 4,387	28	
（維持管理費節減効果）	△ 7,919	△ 3,696	△ 7,167	△ 3,477	
生活環境整備効果	10	－	－	－	
（非農用地等創設効果）	7	－	－	－	
その他効果	8,921	－	8,426	－	
（国産農産物安定供給効果）	－	－	－	－	
計	195,645	167,177	98,589	64,323	〃　1.06
	141,934	102,985	42,578	11,802	総費用総便益比　1.08

上段:変更後
下段:変更前

第12章　関連する事業

区分	事業名	事業主体	受益面積(ha)	事業内容
〃 主要工事	〃 農地整備事業(経営体育成型) 区画整理　星山・犬吠森地区	〃 県	106.7 131.3	〃 区画整理、用水路、排水路、道路、暗渠排水

第13章　現況・計画図面

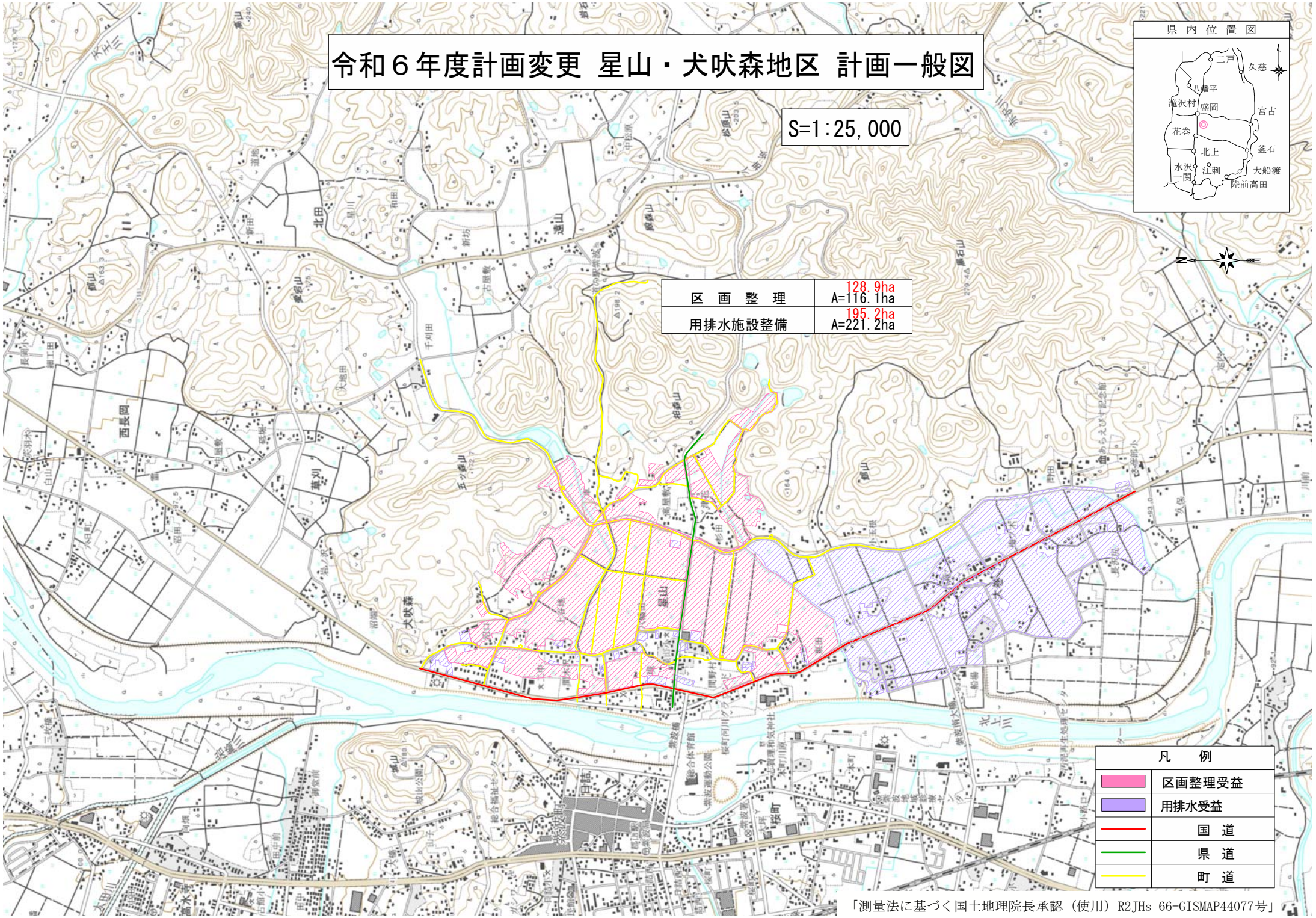
1. 現況平面図
2. 計画平面図及び土地利用計画図
3. 主要構造図

〃
別　　途

令和６年度計画変更 星山・犬吠森地区 計画一般図

S=1:25,000

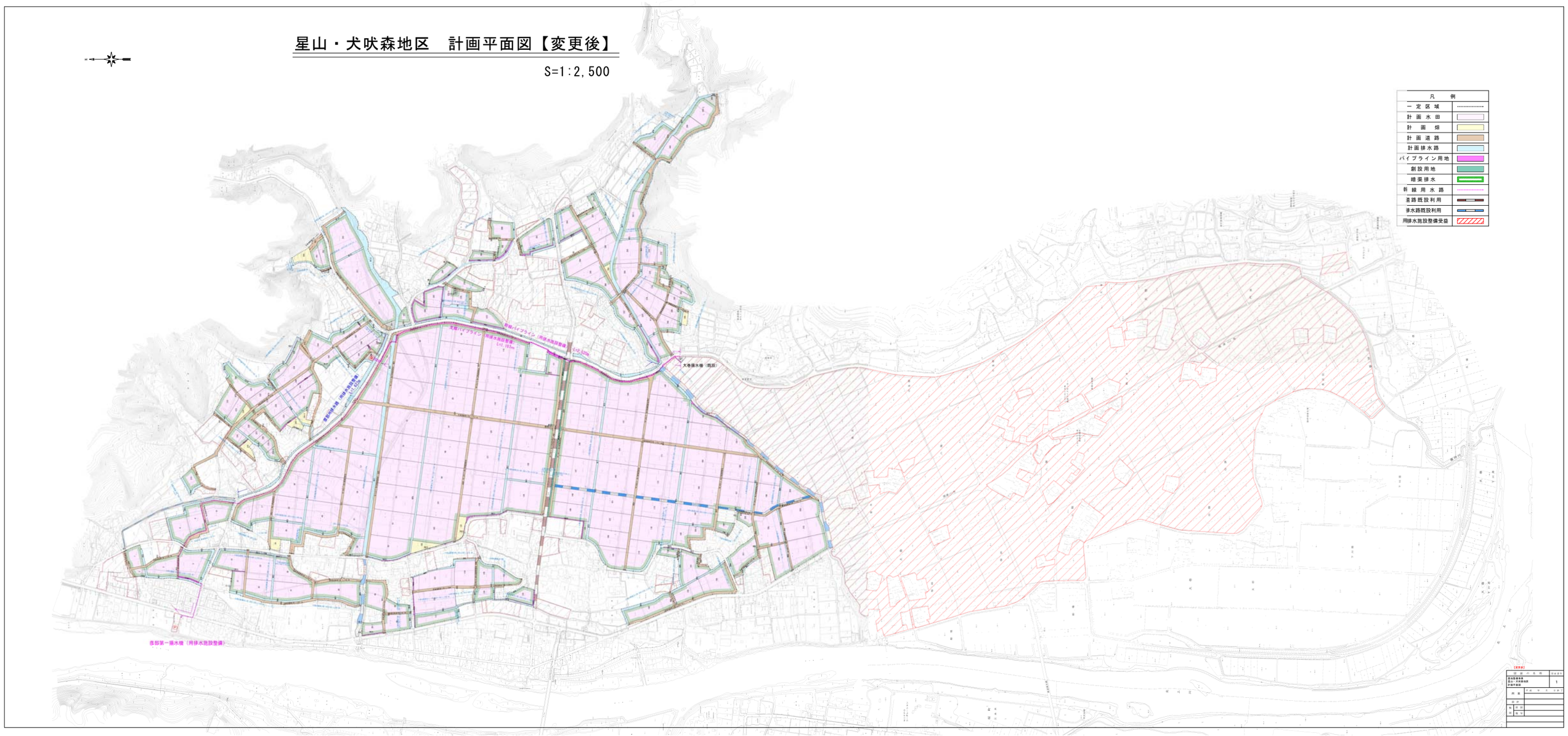
区 画 整 理	128.9ha A=116.1ha
用排水施設整備	195.2ha A=221.2ha



「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2JHs 66-GISMAP44077号」

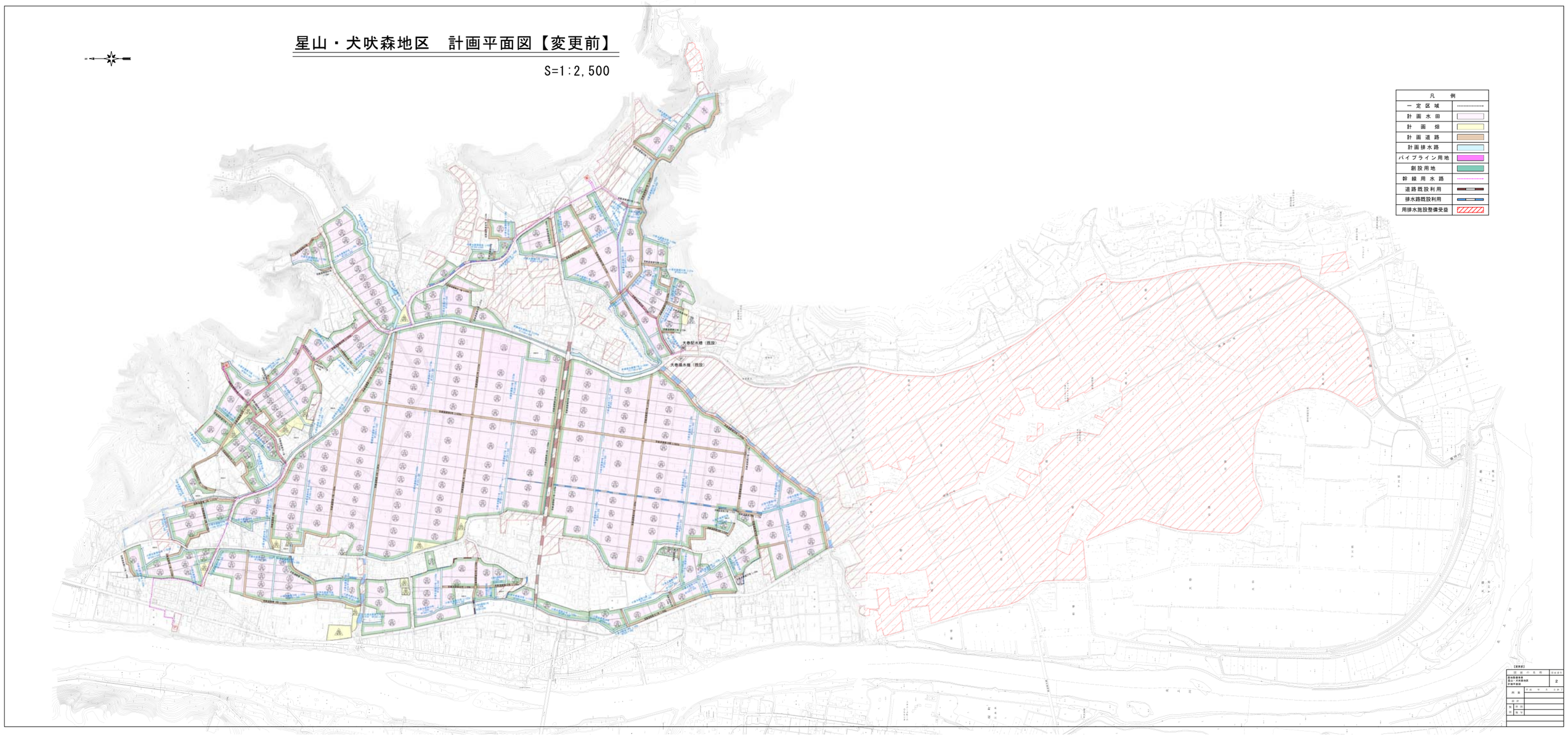
星山・犬吠森地区　計画平面図【変更後】

S=1:2,500



星山・犬吠森地区　計画平面図【変更前】

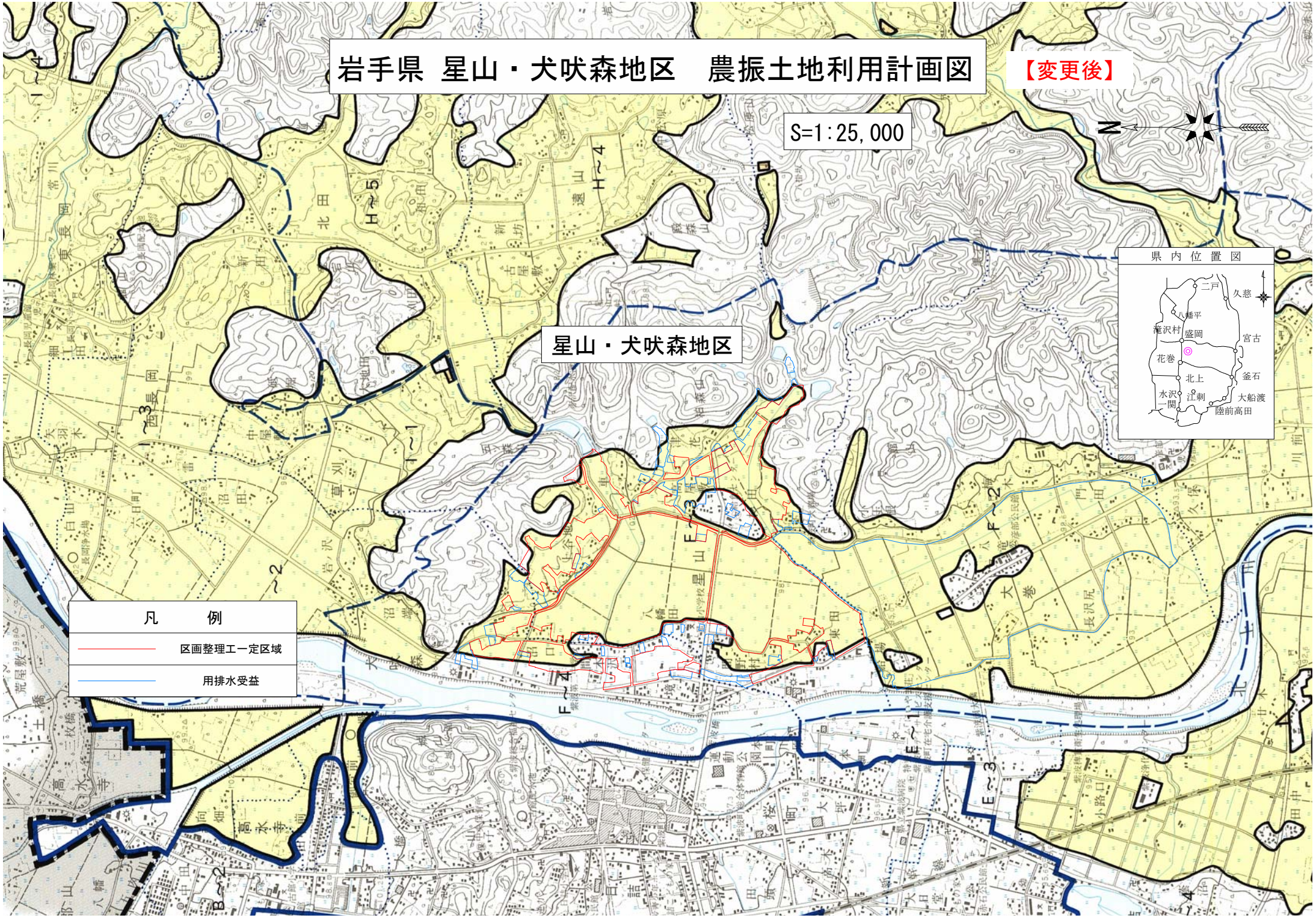
S=1:2,500



岩手県 星山・犬吠森地区　農振土地利用計画図

【変更後】

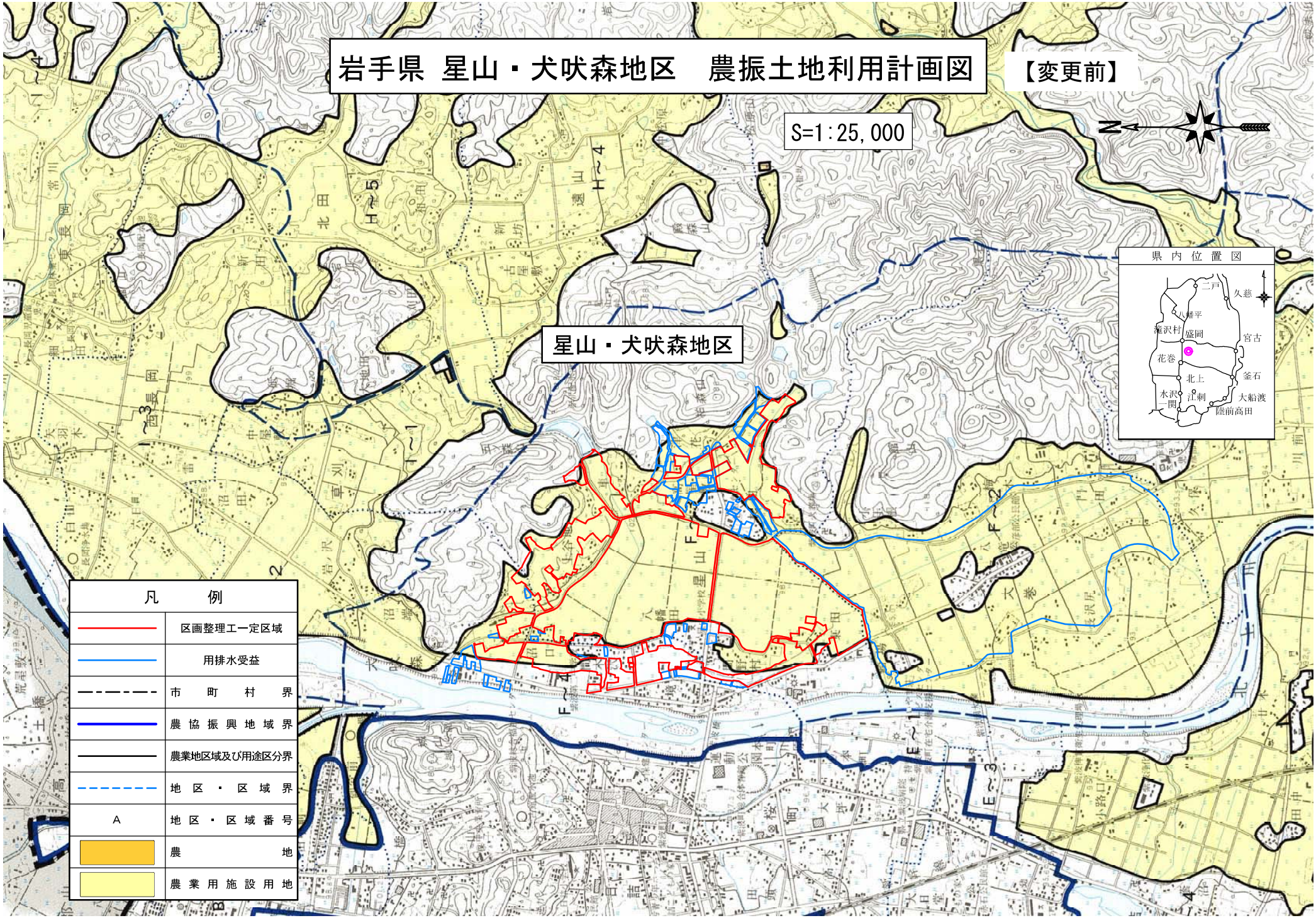
S=1:25,000



岩手県 星山・犬吠森地区　農振土地利用計画図

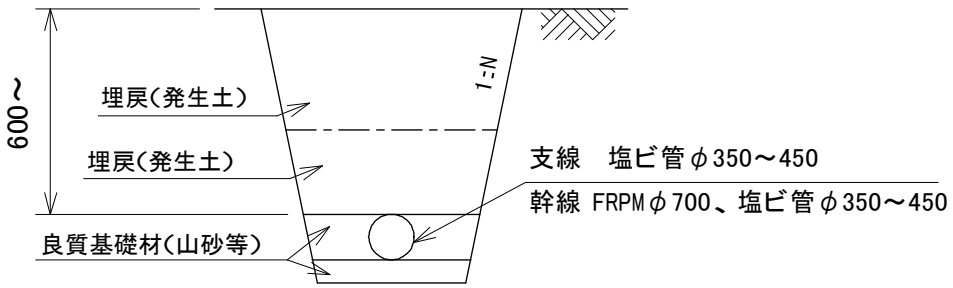
【変更前】

S=1:25,000

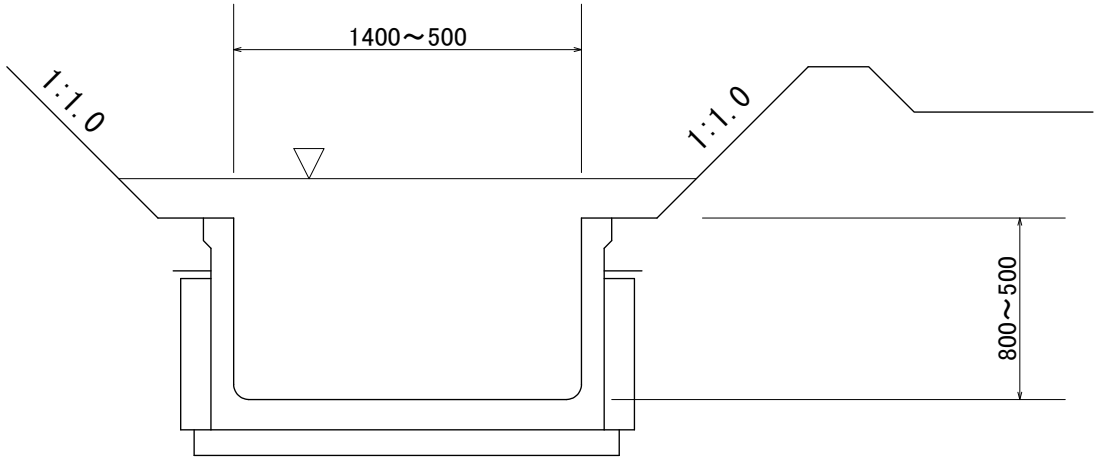


変　更　後

用水路工
パイプライン



用水路工（開渠工）

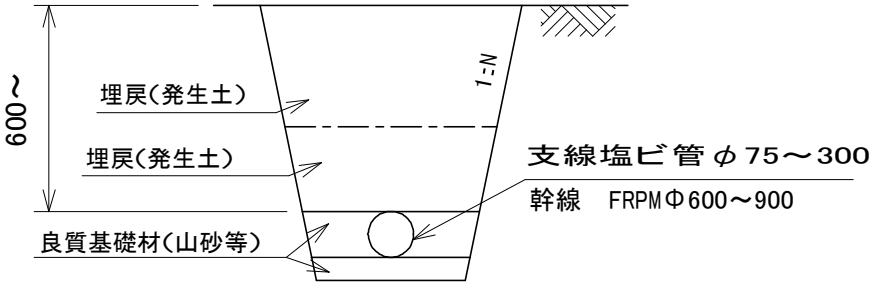


星山－犬吠森地区主要構造図
（用排水施設整備工）

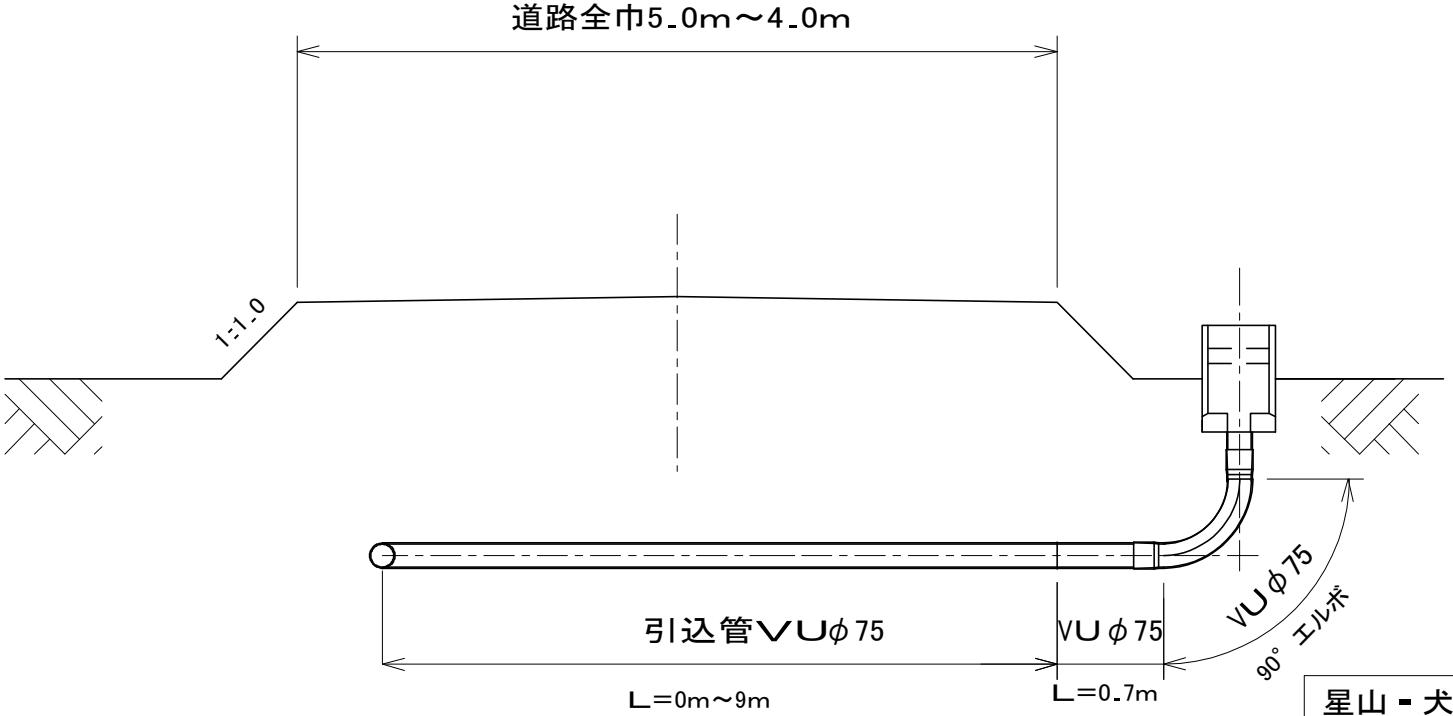
変　更　前

用水路工

パイプライン



給水栓引込



星山・犬吠森地区主要構造図
（用排水施設整備工）